

目 次

令和 7 年度

鹿児島県公立高等学校

入学者選抜学力検査結果の概要

はじめに	1
1 第一次入学者選抜の状況について	1
2 総得点について	2
(1) 受検者の得点分布	
(2) 受検者（400 点以上・360 点以上・100 点未満）、合格者（100 点未満）の年度別推移	
3 各教科の平均点等について	3
(1) 各教科の平均点	
(2) 受検者の平均点の年度別推移	
(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ	
4 目安点をめぐる状況について	5
(1) 目安点未満の人数推移（過去 5 年間）	
(2) 目安点未満の地区別状況（出身中学校所在地区別）	
(3) 過去 5 年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況	
5 今年の特徴的な問題	7
(1) 国語における特徴的な問題	
(2) 社会における特徴的な問題	
(3) 数学における特徴的な問題	
(4) 理科における特徴的な問題	
(5) 英語における特徴的な問題	
6 国語について	12
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（国語）	
(2) 国語の問題	
(3) 国語の解答例	
7 社会について	17
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（社会）	
(2) 社会の問題	
(3) 社会の解答例	
8 数学について	25
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（数学）	
(2) 数学の問題	
(3) 数学の解答例	
9 理科について	32
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（理科）	
(2) 理科の問題	
(3) 理科の解答例	
10 英語について	39
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（英語）	
(2) 英語の問題	
(3) 英語の解答例	

この資料は、公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要をまとめたもので、受検者の学力の状況について、先生方や県民の皆さんに理解していただくために作成したものです。

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

はじめに

令和7年3月5日、6日に、公立高等学校入学選抜学力検査を実施しました。

検査問題の出題にあたっては、学習指導要領に示された目標に則し、小学校から中学校（義務教育学校後期課程）までに習得した知識・技能及びこれらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力が検査できるように留意したところです。

この冊子では、公立高等学校への出願状況等や学力検査の得点などについて集計した結果に加え、「今年の特徴的な問題」で、各教科の「問題のねらい」や「指導上のポイント」を紹介しています。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図るための資料として活用してください。

1 第一次入学選抜の状況について（推薦入学選抜等に係る人数を含む。）

課程 学 科	全 日 制							定時制 計	全定合計	
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計			
募集 定員	7年度	5,883	760	1,800	1,960	520	718	11,641	84	11,725
	6年度	5,894	760	1,840	1,960	520	718	11,692	84	11,776
出願 者数	7年度	5,347	384	1,579	1,576	424	383	9,693	60	9,753
	6年度	5,507	411	1,485	1,686	411	432	9,932	54	9,986
受検 者数	7年度	5,149	375	1,546	1,536	419	371	9,396	57	9,453
	6年度	5,321	398	1,433	1,653	405	420	9,630	48	9,678
合格 者数	7年度	4,750	371	1,473	1,445	412	370	8,821	54	8,875
	6年度	4,851	373	1,372	1,572	397	410	8,975	48	9,023
受検 倍率	7年度	0.88	0.49	0.86	0.78	0.81	0.52	0.81	0.68	0.81
	6年度	0.90	0.52	0.78	0.84	0.78	0.58	0.82	0.57	0.82

- ・ 開陽高校の第3回・第4回入学選抜に係る人数を含まない。
- ・ 普通には、普通科、ミライデザイン科、理数科、文理科学科、文理科、情報科学科、体育科、音楽科、美術科、スポーツ健康科、アスリートスポーツ科が含まれる。
- ・ 受検倍率は、（受検者数）÷（募集定員）として算出している。

（参考）推薦入学選抜、連携型中高一貫教育校入学選抜及び帰国生徒等特別入学選抜の状況

課程 学 科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
出願者数	694	23	241	271	111	34	1,374	12	1,386
受検者数	692	23	241	270	109	34	1,369	12	1,381
合格者数	596	21	225	260	104	32	1,238	8	1,246

（参考）第二次入学選抜の状況

課程 学 科	全 日 制							定時制 計	全定合計
	普通	農業	工業	商業	家庭	総合・その他	計		
募集定員	1,133	389	328	515	108	348	2,821	30	2,851
出願者数	54	10	5	23	0	7	99	0	99
受検者数	54	10	5	23	0	7	99	0	99
合格者数	47	4	4	15	0	4	74	0	74

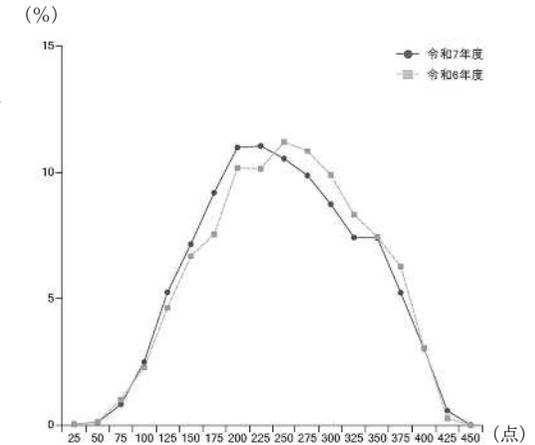
2 総得点について（全日制、定時制合計）

※ この項以降のデータは、すべて学力検査受検者についてである。

(1) 受検者の得点分布

- ・ 平均点は前年度に比べて5.4点下がった。

令和7年度 234.6
令和6年度 240.0



得 点 分 布																	平均点	
0	25	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400		425
24	49	74	99	124	149	174	199	224	249	274	299	324	349	374	399	424	450	
0.0	0.1	0.8	2.5	5.3	7.2	9.2	11.0	11.1	10.6	9.9	8.8	7.4	7.4	5.2	3.0	0.6	0.0	234.6

※ 得点分布は%で示している。

(2) 受検者(400点以上・360点以上・100点未満)、合格者(100点未満)の年度別推移

年 度	受 検 者						合 格 者				
	受 検 者 数 A	400点 以上 の 人 数 B	400点 以上 の 割 合 (%) $\frac{B}{A} \times 100$	360点 以上 の 人 数 C	360点 以上 の 割 合 (%) $\frac{C}{A} \times 100$	100点 未 満 の 人 数 D	100点 未 満 の 割 合 (%) $\frac{D}{A} \times 100$	合 格 者 数 E	100点 未 満 の 人 数 F	100点 未 満 の 割 合 (%) $\frac{F}{E} \times 100$	100点未 満 の 受 検 者 に 対 す る 割 合 (%) $\frac{F}{D} \times 100$
7	8,213	47	0.57	537	6.54	284	3.46	7,616	215	2.82	75.7
6	8,957	24	0.27	593	6.62	308	3.44	8,279	223	2.69	72.4
5	8,735	98	1.12	871	9.97	331	3.79	8,216	271	3.30	81.9
4	8,873	86	0.97	754	8.50	302	3.40	8,165	241	2.95	79.8
3	8,798	122	1.39	977	11.10	413	4.69	8,144	342	4.20	82.8
2	9,194	35	0.38	569	6.19	401	4.36	8,564	315	3.68	78.6

3 各教科の平均点等について（全日制，定時制合計）

(1) 各教科の平均点

区分	課程・学科	総得点	国語	社会	数学	理科	英語	
受検者	全日制	普通系	276.4	60.9	58.7	47.4	57.5	51.9
		職業系	183.2	46.4	40.7	28.6	38.0	29.4
	計	235.2	54.5	50.8	39.1	48.9	42.0	
	定時制	121.5	34.3	28.0	18.2	23.3	17.7	
	全定計	234.6	54.4	50.6	38.9	48.7	41.8	
合格者	全日制	普通系	275.1	60.8	58.4	47.1	57.2	51.4
		職業系	185.7	47.1	41.3	29.0	38.5	29.8
	計	234.7	54.6	50.7	38.9	48.7	41.7	
	定時制	126.2	36.0	29.0	19.1	24.2	17.9	
	全定計	234.0	54.5	50.6	38.8	48.6	41.5	

※ 普通には，普通科，ミライデザイン科，理数科，文理科学科，文理科，情報科学科，体育科，音楽科，美術科，スポーツ健康科，アスリートスポーツ科が含まれる。専門には，総合学科が含まれる。

(2) 受検者の平均点の年度別推移

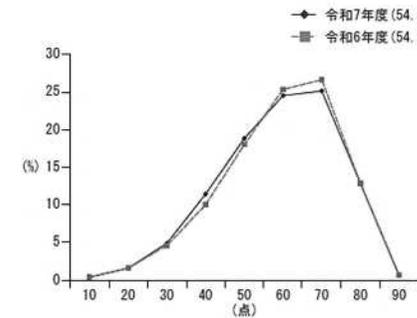
年度	総得点	国語	社会	数学	理科	英語
7	234.6	54.4	50.6	38.9	48.7	41.8
6	240.0	54.9	49.4	43.8	48.8	43.2
5	247.1	51.1	51.5	47.0	50.1	47.4
4	243.5	57.8	53.1	39.0	53.9	39.6
3	248.5	50.4	51.2	47.3	47.5	52.1
2	236.2	55.1	48.4	42.3	43.0	47.5

(3) 各教科における受検者の得点分布及びそのグラフ

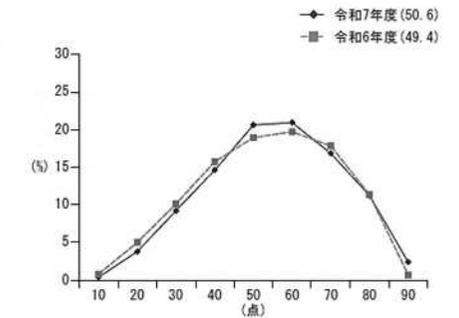
教科	得点分布								
	0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	81~90
国語	0.4	1.6	4.9	11.4	18.8	24.5	25.1	12.8	0.6
社会	0.4	3.8	9.2	14.6	20.6	20.9	16.8	11.2	2.4
数学	3.7	13.9	17.8	18.2	17.7	15.9	9.9	2.8	0.1
理科	0.4	5.2	13.1	17.2	18.2	17.3	14.1	10.5	4.1
英語	1.1	13.3	21.1	18.6	14.2	10.2	9.1	8.8	3.6

※ 得点分布は%で示している。

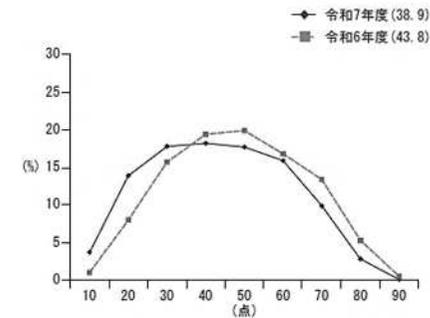
ア 国語（全定を含めた分布）



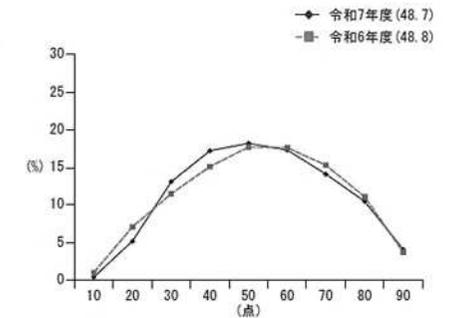
イ 社会



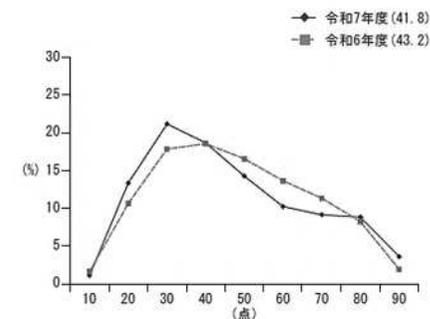
ウ 数学



エ 工理科



オ 英語



() 内は平均点

4 目安点をめぐる状況について

(1) 目安点未満の人数推移（過去5年間）

単位 人

教科等	年度		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	国語	社会	数学	理科	英語	5教科総点が目安点未満の人数	目安点未満の教科を1教科以上持つ実人数
国語	107 (1.3%)	115 (1.3%)	214 (2.4%)	86 (1.0%)	188 (2.1%)		
社会	196 (2.4%)	328 (3.7%)	385 (4.4%)	388 (4.4%)	497 (5.6%)		
数学	1,054 (12.8%)	504 (5.6%)	560 (6.4%)	1,147 (12.9%)	639 (7.3%)		
理科	250 (3.0%)	490 (5.5%)	294 (3.4%)	131 (1.5%)	652 (7.4%)		
英語	724 (8.8%)	714 (8.0%)	411 (4.7%)	879 (9.9%)	338 (3.8%)		
5教科総点が目安点未満の人数	179 (2.2%)	211 (2.4%)	212 (2.4%)	207 (2.3%)	288 (3.3%)		
目安点未満の教科を1教科以上持つ実人数	1,425 (17.4%)	1,164 (13.0%)	1,026 (11.7%)	1,645 (18.5%)	1,157 (13.2%)		
受検者総数	8,213	8,957	8,735	8,873	8,798		

※ 目安点は、基礎的内容の設問の合計点であり、国語・社会・数学・理科においては、小学校教材及びその関連教材の内容を含んでいる。

(2) 目安点未満の地区別状況（出身中学校所在地区別）

地区	目安点 受検者	国語	社会	数学	理科	英語	総得点(目安点:90点)		
		18点	18点	18点	18点	18点	R7	R6	R5
鹿児島	3,203人	0.9%	1.6%	8.9%	2.0%	6.4%	1.3%	1.9%	1.7%
南薩	539人	2.4%	3.2%	20.2%	4.5%	11.9%	3.5%	2.6%	2.3%
北薩	1,090人	2.3%	3.7%	17.9%	4.2%	11.5%	3.2%	2.9%	2.5%
始良・伊佐	1,342人	1.3%	2.1%	12.5%	3.1%	9.1%	1.9%	2.0%	3.1%
大隅	1,010人	0.9%	3.4%	15.8%	3.8%	10.0%	2.8%	3.0%	3.1%
熊毛	228人	0.9%	0.9%	13.6%	3.5%	18.0%	2.2%	0.9%	2.9%
大島	563人	2.1%	3.9%	17.2%	4.6%	11.4%	4.1%	4.8%	3.6%
県全体	8,213人	1.3%	2.4%	12.8%	3.0%	8.8%	2.2%	2.4%	2.4%

※ 鹿大教育学部附属中学校，私立中学校等からの受検者数 238 人については，地区別人数に含まない。

(3) 過去5年間の基本的な「読み・書き・算」をめぐる状況

【国語】

年度	令和7年度		令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	読み	車窓(る)	負荷	嗅覚	魔(れる)	陶酔	怠(る)	頒布	固唾	唾	嫉妬	浸(る)	縁側	招致
誤答者数(人)	3,485	945	1,487	582	4,308	4,521	1,836	5,176	4,525	80	1,012	1,135	1,734	519
割合(%)	42.4	11.5	16.6	6.5	48.1	51.7	21.0	59.2	51.0	0.9	11.4	12.9	19.7	5.9

年度	令和7年度		令和6年度			令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	書き取り	研究(い)	唱(える)	温厚	忠誠	浴(びる)	警告	風潮	粉薬	裁(く)	鉞脈	貯蔵	耕(す)	額
誤答者数(人)	1,792	995	2,544	4,550	5,132	1,793	2,378	4,031	772	1,216	3,256	3,846	2,042	4,700
割合(%)	21.8	12.1	28.4	50.8	57.3	20.5	27.2	46.1	8.7	13.7	36.7	43.7	23.2	53.4

【数学】

年度	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	計算式	誤答者数(人)	割合(%)	計算式	誤答者数(人)	割合(%)
令和7年度	$7+18\div 3$	156	1.9	$3/5-1/6\times 4/5$	903	11.0
令和6年度	$41-7\times 5$	197	2.2	$3/4\div 9/8+1/2$	743	8.3
令和5年度	$63\div 9-2$	218	2.5	$(1/2-1/5)\times 1/3$	690	7.9

年度	令和4年度		令和3年度			
	計算式	誤答者数(人)	割合(%)	計算式	誤答者数(人)	割合(%)
令和4年度	$4\times 8-5$	284	3.2	$1/2+7/9\div 7/3$	444	5.0
令和3年度	$5\times 4+7$	352	4.0	$2/3-3/5\div 9/2$	915	10.4

5 今年の特徴的な問題

(1) 国語における特徴的な問題

2 4 次は、【文章】を読んだ後の、先生と大山さんたちの会話です。□に入る内容を、【文章】に即して六十五字以内で補い、会話を完成させなさい。

(中略)

上原さん 「(前略) 筆者が最後に述べている「下の半円は、本当の自分とのつながりを回復すること」とは、どうするということかな。」

大山さん 「下の半円は人生の言葉でしょう。つまり、□ということだよ。」

【問題のねらい】

- 説明的な文章において、論理の展開を捉え、文章の内容を正確に理解する力をみました。

【指導上のポイント】

- 説明的な文章においては、論理の展開の仕方を捉えることが大切です。文章の論述の過程には、書き手のものの見方や考え方が表われています。このような書き手の論理の展開を捉えることで、文章の内容を正確に理解することができます。

5 1 【会話】における、高橋さんの発言について説明しているものとして、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

【問題のねらい】

- 会話の中の人物が、聞き手としてどのような役割を果たしているか理解する力をみました。

【指導上のポイント】

- 「話すこと・聞くこと」の学習の場面において、話し手が多様な考えをもつ相手に対して自分の考えを明確にして話したり、それらを聞いて聞き手が質問したり評価などを述べたりする言語活動を取り入れることが大切です。この問題においては、話し手の発言を受けて「具体例を提示する」という役割でしたが、このあとの授業の展開としては、互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動につなげるなど、更に発展的な言語活動の充実が望まれます。

(2) 社会における特徴的な問題

1 4 そらさんは、成田国際空港から略地図中のホンコンなど中国の各都市と往復している便が多いことに気づきました。ホンコンについて説明した次のA、Bの文の正誤の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。

- A 新興工業経済地域（NIEES）の一つである。
B かつてイギリスに統治されていた。

ア (A 正 B 正) イ (A 正 B 誤)
ウ (A 誤 B 正) エ (A 誤 B 誤)

【問題のねらい】

- 教科「社会」では、地理・歴史・公民の3分野で大別して学びます。それら3分野は互いに密接に関連しており、一つの事象を分野の枠を超えて多角的・多面的に捉えて理解する必要があります。この問題では、ホンコンについて、経済や歴史といった分野から多角的・多面的に理解しているかをみました。

【指導上のポイント】

- 地理の学習で学ぶ内容を、歴史の学習、公民の学習でも関連させながら、分野を超えた総合的な視点で理解できるような指導が必要です。実際に、今回のホンコンに関する情報は公民及び歴史の教科書にも記載されています。地理・歴史・公民という枠組みは、あくまで学習しやすいように便宜的に分けられているもので、実際は、一つの事象が、経済、歴史、政治、文化等の側面からさまざまな特徴をもってきます。それらを多角的・多面的に捉え、総合的な概念として把握できるようにする必要があります。

2 6 略年表中の○以降に起こったできごとに関する資料を、次から三つ選び、そのできごとが起こった年代の古い順に並べなさい。



ア 中華人民共和国の成立を宣言する毛沢東



イ 日本安全保障法案の成立に反対するデモ



ウ イギリス・アメリカ・ソ連の代表者によるマルタ会議



エ ベルリンの壁の破壊を撮影する人々

【問題のねらい】

- 歴史的分野における現代史は、生徒にとって最も身近な歴史的事象が含まれており、現代社会の諸問題を考えていく上でも非常に重要です。また、現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現することも非常に重要です。この問題では、第二次世界大戦後の日本と世界の動向について、正しく理解しているかをみました。

【指導上のポイント】

- 歴史的分野では、「どのような時代だったのか」、「どのような影響を与えたのか」、「前の時代とどのように変わったのか」等の視点に着目して考えたり、表現したりすることを意識させた学習の指導が大切です。また、現代社会における諸問題を考える上で、歴史的事象がどのような影響を与えたのかを学習し、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察し、表現できるよう指導していく必要があります。

(3) 数学における特徴的な問題

3 下の図のような等間隔で平行に罫線が引かれているノートがあり、△ABCの各頂点が罫線上にあります。BP:PC = 2:1 となるように辺BC上の点Pを定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし、点Pの位置を示す文字Pも書き入れ、作図に用いた線も残しておきなさい。

【問題のねらい】

- 図形概念、図形の性質や関係についての理解、図に表現したり、正しく作図したりする技能及び図形の性質について深く考察する思考力をみましました。

【指導上のポイント】

- 作図の指導では、単なる操作や作業だけに終始することなく、日常生活の中にある図形を活用して、論理的に考察するとともに、考察したことを筋道立てて説明する機会を設けることが大切です。

4 ユウさんとレンさんは、授業中にタブレット端末でグラフ作成アプリを使って、関数 $y = ax^2$ について調べています。下は授業のある場面での【会話】です。次の1～4の問いに答えなさい。

【会話】
先生：今日は関数 $y = ax^2$ について、グラフ作成アプリを使って考えていきましょう。まずは、 $a = 1$ とすると画面（図1）のようなグラフが表示されますね。
ユウ：画面の●を左右に動かすとグラフの形が a の値に対応するように動きますね。
レン：本当だ。①画面の●を右に動かすとグラフの向きが変化しましたよ。
先生：では、次の【問題】を考えてみましょう。

【問題】
右の図のように、関数 $y = ax^2$ のグラフと、そのグラフ上に x 座標が2である点Pがあり、点Qの座標は(0, 2)とします。また、直線PQと関数 $y = ax^2$ のグラフの2つの交点のうち、Pでない方の点をRとします。このとき、△OPRの面積が5となるような a の値を求めなさい。ただし、 $a > 0$ とします。

【問題のねらい】

- 一次関数や関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴や変化の割合などの関数の性質を理解しているかや、三角形の性質を理解しているかをみましました。
- 関数関係に着目し、その特徴を式やグラフと相互に関連付けながら考察することができるかの思考力・表現力・判断力をみましました。

【指導上のポイント】

- 数学的な性質の発見という場面で生徒が思考するための道具としてコンピュータの活用が有効です。グラフ作成アプリを活用して a の値を変化させることで、関数 $y = ax^2$ の理解や、探究的な学びの課題解決につながります。
- 数学の事象から問題を見いだし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したり、説明し伝え合ったりする活動が必要です。

(4) 理科における特徴的な問題

2 3 この観察結果から、けんさんは、「金星の見え方が変化するのは、月と同じように金星が地球のまわりを公転しているためではないか」という仮説を立て、図2のようなモデルを考えて金星の見え方について検証した。

図2

(1) この仮説では、金星の見え方についてうまく説明できない事柄があり、この仮説は正しくないことがわかった。うまく説明できない事柄とは何か、答えなさい。
(2) けんさんは、その後、金星は太陽の周りを地球と同じ向きに225日(0.62年)の周期で公転していることを学んだ。そして最初にけんさんが観察を行った日から225日後、同じ場所から金星を観察した。このときの金星の見え方について正しいものはどれか、答えなさい。
ア 明け方、東の空に見える イ 明け方、西の空に見える
ウ 夕方、東の空に見える エ 夕方、西の空に見える

【問題のねらい】

- 金星の見え方の変化について、太陽と金星の位置関係に着目して仮説を立て、考察する力をみましました。さらに金星の公転運動について、太陽、金星、地球を俯瞰する視点と地球からの視点とで考えられるかどうかをみましました。

【指導上のポイント】

- 授業の実験において、仮説を立てる場面や仮説を検証する場面を充実させる必要があります。また、得られた結果やデータをさまざまな角度から分析したり、新たな疑問や気づいたことに対して自ら思考を働かせたりすることができるような指導が必要です。

4 3 ひろみさんは、学校周辺で見られるアサリ、サワガニ、メダカ、カナヘビ、イモリ、スズメ、ニホンザルのそれぞれの特徴についてまとめたカードを作成した。これら7枚のカードの中から、ひろみさんが1枚を選び、その選んだカードをしんじさんがあてる生物分類ゲームをすることにした。次は、そのときのひろみさんとしんじさんの会話である。

ひろみ：まず、ルールを教えるね。質問は3回までです。これまでに学んだ、生き物を分類する特徴で質問してくださいね。回答は「はい」か「いいえ」で答えます。では、質問をどうぞ。

しんじ：
ひろみ：はい。
しんじ：
ひろみ：いいえ。
しんじ：わかった。ひろみさんが選んだのは、ニホンザルのカードです。
ひろみ：すごいね。2回の質問で正解したね。

(1) にはまる質問はどれか、答えなさい。
ア えらで呼吸しますか。 イ 背骨はありますか。
ウ 水中で生活していますか。 エ うろこでおおわれていますか。
(2) にはまる質問を書きなさい。ただし、問う内容は一つとします。

【問題のねらい】

- セキツイ動物の進化の過程を思考し、さらに、現存する身近な生物を分類するための基準を理解した上で、文章を正しく組み立てて表現する力をみましました。

【指導上のポイント】

- 基本的な知識を単独のものだけでなく、概念として把握することも大事です。学習の過程で、知識を活用する場面を設定し、その上で他者と話し合いや振り返りができるようにし、その際、自身の考えの根拠をしっかりとって表現できるように適宜発問や助言を工夫することが重要です。

(5) 英語における特徴的な問題

1 6 留学中のあなたは、Margaret 先生から学園祭 (school festival) についての説明を聞きます。あなたが学園祭についてホストファミリーに伝えたい情報は、開催日、開催場所、あなたのクラスの出し物、あなたのクラスの出演時刻です。説明を聞いた後、不足していた情報を Margaret 先生に聞くための質問として、最も適当なものを下の A~Eの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

A Where will the festival be held? E What will we do on the stage?
 U When will the festival be held? I What time will we perform?

【問題のねらい】

○ 会話を聞いて、その内容を理解し、適切に表現する力をみました。

【指導上のポイント】

○ 大事な情報を聞き取り、情報を整理して要点を捉えることが必要です。また、授業においては、自分にとって必要な情報をたずねる言語活動を積極的に取り入れることが大切です。

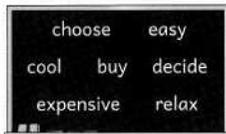
2 5 英語の授業で、制服 (school uniform) について ALT の Nick 先生から次のような<質問>をされました。<質問>に対するあなたの考えを、理由も含めて、20語程度の英語で書きなさい。2文以上になってかまいません。下の【図】は Nick 先生がみんなの意見を聞いて黒板に書いた語を示したものです。なお、【図】に示した語も使ってよいこととします。

<質問>

When I was a student, I went to school in casual clothes*. Which are better, school uniforms or casual clothes?

注 casual clothes 私服

【図】



【問題のねらい】

○ 自分の考えや意見を指定された語数の英文で適切に書く力をみました。

【指導上のポイント】

○ 比較級などを使って、自分の考えや意見を適切に書く力が必要です。また、理由を伝えられるよう、becauseなどの論の展開を示すつなぎ言葉を効果的に使用させることが大切です。

○ 語数が指定されているので、過不足なく書けるようにするために、日常生活の中の経験や出来事などについて、互いに自分の意見を理由とともに、英語で伝え合う活動を豊富に取り入れることが大切です。

6 国語について

(I) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(国語)

問	題 内 容	学年	正 答 率									
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		74.4									
1	(1) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	小3小3	75.2									
	(2) 漢字の書き取り(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	小6	87.9									
	(3) 漢字の読み(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	小1小6	57.6									
	(4) 漢字の読み(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	中	88.5									
2	(1) 漢字の選択(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	小3	72.4									
	(2) 漢字の選択(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	小5	73.6									
3	書写(我が国の言語文化に関する事項)	中	63.0									
・ 大問全体の正答率は74.4%で、昨年の68.2%からすると高くなった。②「幼」の書き、④「進」の読みの正答率は9割に迫り、概ねできていた。③「車窓」については、「しやまど」「しやくこう」「しやくわく」など、さまざまな誤答がみられた。また、今年度初めて出題した、適切な漢字を選ぶ同音異義語の問題については、①、②ともに7割を超えており、概ねできていた。漢字の書きについては、文や文章の中で使い慣れるために、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うための指導を工夫したい。												
・ 小問3の正答率は63.0%であり、昨年の85.2%と比較するとやや下がった。行書の特徴として、点や画が省略されたり、連続したりする場合があることなどを理解させる指導を継続的にしていきたい。												
2	説明的な文章		51.9									
1	表現の技法(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	中1	69.7									
	助動詞の働き(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	中2	65.3									
3	I 内容の理解(読むこと)	中2	69.5									
	II 内容の理解(読むこと)	中2	63.0									
4	内容の理解(読むこと)(書くこと)	中3	10.8									
5	内容の理解(読むこと)	中3	73.6									
・ 小問1は詩の表現の技法に関する選択肢の問題で、概ねできていた。小学校での学習を踏まえ、中学校では、表現の技法について意味や用法とともに理解し、語や文章の中で使うことが求められる。												
・ 小問4は、「下の半句は本当の自分とつながりを回復すること」とはどういうことか、本文に即して説明させる問題で、本文全体を踏まえ、記述する必要があったが、「下の半句」についての直接的な説明の箇所を抜き出した解答や、「本当の自分のつながりを回復する」という表現を引用した解答など、不十分な解答が散見され、正答率も低かった。説明的な文章においては、文章の中心的部分と付加的な部分、主張と例示の関係、論理の展開の仕方を見えさせる指導をいただきたい。												
3	古典的文章		64.4									
1	歴史的仮名遣い(我が国の言語文化に関する事項)	中1	94.7									
	内容の理解(読むこと)	中2	79.0									
3	内容の理解(読むこと)	中2	82.9									
4	(1) 内容の理解(読むこと)	中3	52.7									
	(2) 内容の理解(読むこと)	中3	43.2									
	(2) 主題の理解(読むこと)	中3	55.7									
・ 小問1は我が国の言語文化に関する事項を問う問題で、正答率は94.7%と高く、基礎的な力は身に付いていることがうかがえる。古典の世界に親しむためには、音読に必要な文語のきまりを知り、繰り返し音読して、その独特のリズムに気付かせることが重要である。												
・ 小問4(1)IIでは、【資料】や【ノートの一部】を有効活用できていない解答や、前後の空欄前後の文脈を無視した解答がみられた。古典に表れたもの見方や考え方を知らるために、現代語訳や語注を手掛かりに作品を読ませたり、関連する本や文章を紹介したりするなどの指導上の工夫を大切にしたい。												
4	文学的文章		60.2									
1	語彙(言葉の特徴や使い方にに関する事項)	中1	69.3									
	I 内容の理解(話すこと・聞くこと)	中2	95.5									
2	II 内容の理解(話すこと・聞くこと)	中2	69.3									
	内容の理解(読むこと)	中1	83.6									
4	内容の理解(読むこと)	中1	67.7									
5	心情の理解(読むこと)(書くこと)	中3	23.1									
・ 小問1は語句の意味について選択肢から選ぶ問題であり、概ねできていた。												
・ 小問4は、情動描写を基に優劣の考えを読み取る問題で概ねできていた。文学的文章を読む際には、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めることが大切である。												
・ 傍線部における優劣の心情を問う問題である小問5は、条件である、「これまでの経過」を踏まえていない解答や、「透明なルール」という表現をそのまま用いている解答がみられた。登場人物の心情は、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを踏まえて暗黙的に表現されている場合もあるため、本文の描写を丁寧に捉えさせるような指導を工夫したい。												
5	作文		54.8									
1	聞き手の役割(話すこと・聞くこと)	中2	89.4									
	作文(書くこと)	小~中	47.1									
・ 今回初めて出題した、聞き手がどのような役割を果たしているかを選択肢から選ぶ問題については、高い正答率であった。「話すこと・聞くこと」の学習の場面において、話し手が自分の考えを話したり、聞き手がそれらを聞いて質問したり評価を述べたりするよう言語活動を充実させたい。												
・ 条件を的確に踏まえた意欲的な解答がある一方で、第一段落で具体例がないものや、第二段落で日本語の魅力について述べられていないものなど、不十分な解答もあった。また、誤字脱字や、文の照応が不適切な解答もみられた。学習の場面において、論理の展開を考えて文章の構成を工夫したり、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えたりする指導を積極的に取り入れたい。												

(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆:目安対象の要素を含む意。

(2) 国語の問題（著作権法に基づき、掲載は1, 3, 5とします。）

- 1 次の1～4の語句は捨てなす。
- 次の「――」部分のひらがなは誤記し、誤字は正しく訂正しなす。
 - ① 語彙から入るべきこと。 ② 本邦の語彙の減少を避ける。
 - ③ 母語の純正性を保つ。 ④ ネット上の交流を避ける。
- 2 次の「――」部分のひらがなを誤記し、誤字は正しく訂正しなす。
- ① 時々の出来事。 ② 時々の出来事。
 - ③ 時々の出来事。 ④ 時々の出来事。
- 3 次の文章を読んで、文中の語句について、①～④の語句を正しく訂正しなす。



- 1 ① 誤字の訂正 ② 誤字の訂正
 2 ③ 誤字の訂正 ④ 誤字の訂正
 3 ① 誤字の訂正 ② 誤字の訂正
 4 ③ 誤字の訂正 ④ 誤字の訂正

- 3 次の【本文】と【解説】を読んで、文中の語句について、①～④の語句を正しく訂正しなす。
- 【本文】
- 『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。
- ① 小説の歴史。 ② 小説の歴史。 ③ 小説の歴史。 ④ 小説の歴史。
- ⑤ 小説の歴史。 ⑥ 小説の歴史。 ⑦ 小説の歴史。 ⑧ 小説の歴史。
- ⑨ 小説の歴史。 ⑩ 小説の歴史。 ⑪ 小説の歴史。 ⑫ 小説の歴史。
- ⑬ 小説の歴史。 ⑭ 小説の歴史。 ⑮ 小説の歴史。 ⑯ 小説の歴史。
- ⑰ 小説の歴史。 ⑱ 小説の歴史。 ⑲ 小説の歴史。 ⑳ 小説の歴史。
- 【解説】
- 『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。

【解説】

『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。

① 小説の歴史。 ② 小説の歴史。 ③ 小説の歴史。 ④ 小説の歴史。

⑤ 小説の歴史。 ⑥ 小説の歴史。 ⑦ 小説の歴史。 ⑧ 小説の歴史。

⑨ 小説の歴史。 ⑩ 小説の歴史。 ⑪ 小説の歴史。 ⑫ 小説の歴史。

⑬ 小説の歴史。 ⑭ 小説の歴史。 ⑮ 小説の歴史。 ⑯ 小説の歴史。

⑰ 小説の歴史。 ⑱ 小説の歴史。 ⑲ 小説の歴史。 ⑳ 小説の歴史。

国-6

- 1 小説の歴史。 2 小説の歴史。 3 小説の歴史。 4 小説の歴史。
- 5 小説の歴史。 6 小説の歴史。 7 小説の歴史。 8 小説の歴史。
- 9 小説の歴史。 10 小説の歴史。 11 小説の歴史。 12 小説の歴史。
- 13 小説の歴史。 14 小説の歴史。 15 小説の歴史。 16 小説の歴史。
- 17 小説の歴史。 18 小説の歴史。 19 小説の歴史。 20 小説の歴史。

(2) 国語の問題

【1～4の語】

語彙	『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。
誤字	○ 【本文】を【解説】と読みかえなす。誤字訂正 ① ① の誤字を訂正しなす。 ○ 【解説】に「小説」の語句を訂正しなす。
読みかえ	『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。

- 1 ① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 5 田中先生の文章は、誤字や「田中先生の文章」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。
- 【解説】
- 『小説の歴史』の「小説」の語句について、その意味を正しく訂正しなす。
- ① 小説の歴史。 ② 小説の歴史。 ③ 小説の歴史。 ④ 小説の歴史。
- ⑤ 小説の歴史。 ⑥ 小説の歴史。 ⑦ 小説の歴史。 ⑧ 小説の歴史。
- ⑨ 小説の歴史。 ⑩ 小説の歴史。 ⑪ 小説の歴史。 ⑫ 小説の歴史。
- ⑬ 小説の歴史。 ⑭ 小説の歴史。 ⑮ 小説の歴史。 ⑯ 小説の歴史。
- ⑰ 小説の歴史。 ⑱ 小説の歴史。 ⑲ 小説の歴史。 ⑳ 小説の歴史。

国-10

7 社会について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(社会)

問題	内容	学年	正答率									
			0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1 地理的分野を主とする問題			57.7									
1	大陸と海洋の分布	中1	80.8									
2	世界各地の作物	中1	97.8									
3	日本と世界各地との貿易	中1	72.6									
4	ホンコンの特徴	中1	19.7									
5	日本と世界各地との位置関係	中1	53.7									
6	インドの宗教と生活	中1	48.7									
II			58.2									
1	都道府県の位置	中2	58.2									
2	日本の地形	中2	83.0									
3	日本の気候の特徴	中2	47.3									
4	各県の産業の特徴	中2	41.1									
5	(1) 表の読み取りと表現	中2	62.9									
6	(2) 日本の土地利用の変化とその背景	中2	48.3									

- ・ 中間 I 小問1では、基礎基本の知識や技能を問い、正答率が80%を超えた。また、小問2の写真を見て作物を答える問題は、正答率が97.8%と全小問中で最も高い正答率となった。このことから、視覚的な資料を用いた授業は定着の効果が高いことが推察される。
- ・ 一方、中間 I 小問4のホンコンに関する問題では、正答率が19.7%と非常に低かった。これは、ホンコンがいつてイギリス領であったことを誤とした解答が非常に多かったことに起因している。授業では、教科で区切られた一面的な学習ではなく、各教科での学習の成果を総体化したに関連付けたりした概念としての理解ができるような工夫を行いたい。
- ・ 中間 II 小問1は、正答率58.2%であった。関東地方を地図上で確定した上で海に面するかどうかを判断する二段階の思考が必要であったことが正答率をやや下げたと考えられる。また、中間 II 小問2は、正答率が83.0%と最も高この分野においての定着率の高さがうかがえる。それにに対し、中間 II 小問4は、正答率41.1%であった。「茶畑＝静岡県」という知識のみで解答したため誤答につながったようである。中間 II 5(1)の表現力を見る問題は、正答率は82.9%と82.9%と高かった。授業においては、一面的で単純な思考で終わらず、それらを利用して、思考を深めたり、複数の知識を総合して思考したりする指導を行いたい。
- ・ 中間 I・II とともに最後の小問は、正答率がいずれも約48%であった。特に、中間 II 小問5(2)は、「額」と「割合」を混同した誤答が目立った。授業ではグラフや資料を読み解く際の視点やポイントが身に付くような工夫を行いたい。

2 歴史的分野を主とする問題			50.9									
I			72.0									
1	① 江戸時代の人物	中1	72.0									
2	② 平安時代の著作	中1	65.5									
3	江戸幕府の出来事	中1	51.4									
4	天平文化の歌集	中1	41.6									
5	近世の日本と世界の関わり	中1	39.6									
6	歴史的事象の流れ	中1~2	43.0									
II			31.3									
1	① 幕末の人物	中1	31.3									
2	② 第一次世界大戦の対立	中2	81.1									
3	八幡製鉄所	中2	54.3									
4	大正時代の出来事	中2	45.4									
5	日本の選挙制度の変化	中2	66.4									
6	沖縄返還	中3	58.2									
III			15.4									
1	戦後の世界の動き	中3	15.4									

- ・ 中間 I・II の小問1では、基礎用語の定義をみる問題で、正答率が約6~8割と良好な結果であった。
- ・ 中間 I 小問3は、誤答として「古今和歌集」が多かった。仮に「この歌集名を答えなさい」と問われたことが影響したとすれば、万葉仮名、大伴家持等、関連する内容までを総合した概念の理解が乏しく、一面的で単純な思考によって解答している可能性がある。事象の内容や関連性等、総体としての概念的な理解、多角的・多面的な理解を促す指導を行いたい。
- ・ 中間 I 小問6は、正答率が31.3%と中間 I 中で最も低かった。文章表現には苦慮したが、法令を出した理由はある程度捉えられていたようである。授業では、教科科目を超えたあらゆる場面で、文章による表現力を育成する指導を行いたい。
- ・ 中間 II 小問3は、正答率45.4%であった。受験生は「自由民権運動」又は「川端康成」を大正時代と誤って判断したようである。また、中間 II 小問5は、資料中の「琉球」という記載から沖縄を「琉球王国」と捉えている誤答がみられた。
- ・ 中間 II 小問6は、正答率が15.4%と全問中で最も低く、今年度も現代史の内容の定着度の低さが目立った。現代史は、例年正答率が低い傾向にある。シラバスに基づいて現代史の時間を十分確保しつつ、生徒自身の今につながる現代史の学習ができるようにしたい。

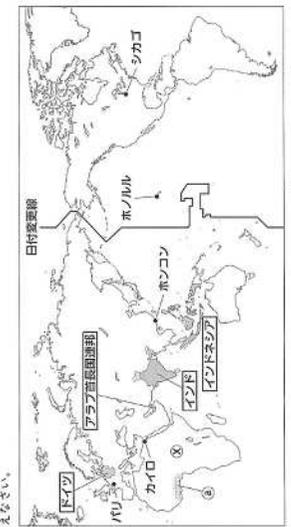
3 公的分野を主とする問題			60.7									
I			76.2									
1	権力の抑制と均衡	中3	76.2									
2	経済活動の自由	中3	89.8									
3	多文化共生をめざして	中3	65.3									
4	衆議院と参議院	中3	60.3									
5	裁判員制度	中3	69.7									
6	みんなの快適な暮らしのために	中3	28.4									
II			91.5									
1	グローバル化	中3	91.5									
2	ユネスコ	中3	97.0									
3	金融政策	中3	58.1									
4	(1) グラフの読み取り	中3	46.6									
5	(2) 歳入削減の政策	中3	66.1									
III			28.0									
1	消費税の特徴	中3	28.0									

- ・ 解答を文章で表現する問題を多く出題した大問3(公的分野)は、正答率が60.7%と全大問中で最も高い結果となった。理由として、比較的に日常で見聞きする事象を扱ったことで、受験生にとって馴染みがあったことが挙げられる。また、白紙解答が少なく、多くの受験生が意欲的に解答しようとする姿勢がうかがえた。
- ・ 中間 I は正答率が6割を超える小問がほとんどで全体的に定着率の高さがうかがえたが、その中で中間 I 小問6は正答率が28.4%と低かった。誤答として、高齢者に関わる問題についてのレポートであるにも関わらず、「労働力不足」や「環境問題」を指導する解答が多く、問われていることを正しく把握せず解答してしまったようである。日常会話等も含め、主題となっていることを的確に把握する国語力の養成を行いたい。
- ・ 中間 II 小問1及び小問2は、正答率が90%を超え、定着率の高さがうかがえる。一方で、中間 II 小問4(1)は、正答率が46.6%と低く、税率と歳入それぞれの変化について言及しているが、両者の関係性にまで言及していない解答が目立った。また、中間 II 小問5は、正答率が28.0%と低かった。消費税の特徴でない累進課税について説明している解答が散見された。グラフや資料を授業で積極的に扱い、それらを読み解く際の視点やポイントが身に付くような指導を行っていくことが望まれる。

(注) 学年：当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。
(注) ☆：目安点対象の要素を含む意。

(2) 社会の問題

4. そのまさんは、成田国際空港から帰国途中のホンコンなど中国の都市を往復している乗客が多いことに気づきました。ホンコンについて説明した次のA、Bの次の正誤の組み合わせとして、正しいものを並びなさい。
 A 新興工業経済地域(NIES)の一つである。
 B かつてイギリスに統治されていた。
 ア(A正 B正) イ(A正 B誤)
 ウ(A誤 B正) エ(A誤 B誤)
5. 略地図中のパリ、カイロ、ホノルル、シカゴについて、日本との時差が2番目に大きい都市を答えなさい。ただし、サマータイムは考えないものとします。
6. 夏休みを利用して成田国際空港から略地図中のインドに行くことになったそのまさんは、香港にインドのさまざまな飲物を試飲することになりました。アストワード店のメニューを見ていたそのまさんは、資料2のように精や塩の割合が多い商品が多いことに気づき、その理由について調べました。資料3は、そのまさんが調べたことの一部を示しています。インドのファストフード店に精や塩の割合が多い理由を、資料3をもとにして説明しなさい。



1 世界を六つの洲に分ける方法を用いるとき、略地図中の②の州の名称を解答欄に合わせて答えなさい。

2 略地図中の③の州で盛んに栽培されている、チョコレートやココアの原料となる作物を選びなさい。



3 そのまさんは、略地図に示したいくつかの国と日本との貿易の関わりについて調べてみました。資料1はその一断面であり、ア〜ウはアラブ首長国連邦、ドイツ、インドネシアのいずれかです。アラブ首長国連邦はどれか、選びなさい。

資料1

日本との貿易における関わり(注)と日本の貿易に占める割合(2022年)	貿易額	主な品目(%)
ア	日本からの輸入 2兆5702億円 日本への輸出 2兆7864億円	電気機器23.1、一般機械19.4、農産物8.8 医薬品21.1、車両車16.1、電気機器14.0
イ	日本からの輸入 1兆7772億円 日本への輸出 3兆7606億円	主な品目(%) 一般機械22.2、鉄鋼15.8、自動車部品12.5 石油28.6、金属鉱冶合金8.2、液化天然ガス8.9
ウ	日本からの輸入 1兆1596億円 日本への輸出 6兆1888億円	主な品目(%) 車両車27.6、一般機械16.2、バスとトラック7.6 船舶82.4、揮発油8.1、液化天然ガス4.2

注) 貿易額は、モノの貿易額とサービスの貿易額を合わせたものとする。
※ 貿易額は、モノの貿易額とサービスの貿易額を合わせたものとする。

資料3

インドの人口に占める主な宗教の割合の割合	割合
ヒンドゥー教	79.8%
イスラム教	14.2%
キリスト教	2.3%

(参考資料1: 国勢調査)

Ⅱ 次は、りんさんが、日本の地理に関する学習の振り返りを行った際に作成した学習メモのカードと地図です。1～5の問いに答えなさい。

- 地図
- (6) 日本の地域区分
- (7) 日本の地形
- (8) 日本の気候
- (9) 各地の産業
- (10) 身近な地域の遺産



- 1 (6)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 2 (7)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 3 (8)に同じで、資料1は新地図の南西a～cの月ごとの降水量を示したものであり、ア～Cはa～cの月ごとの降水量を示したものであり、ア～Cに当てはまるものをそれぞれ選いずればよい。a～Cに当てはまるものをそれぞれ選いずればよい。
- 4 (9)に同じで、資料2は新地図のW～Z島における主な製菓品の出荷額の割合と精糖の利用率の割合とをまとめたものであり、ア～EはW～Z島のいずれかであり、Z島はそれか、選びなさい。

資料2

主な製菓品の出荷額の割合	精糖の利用率の割合	
	甲	乙
A 生食用糖菓料32.1、食料品8.8、菓子部品率8.6	33.0	42.8
I 化学品1.1、食料品10.0、金属製品12.4	85.8	1.3
ウ 輸送用機器具24.4、電気機械器具14.2、化学13.5	35.4	38.4
エ 輸送用機器具12.6、飲料14.2、印刷10.9、電気機械器具9.8	77.7	1.7
オ MRO品10.0、輸送用機器具12.6、印刷10.9、電気機械器具9.8	77.7	1.7

(※ MRO品とは、印刷用紙、インク、ボールペン、事務用品など、生産現場で使用する消耗品を指す。)

社-4

2 次のⅠ、Ⅱの問いに答えなさい。答えを記号の横に記入し、その記号を書きなさい。次は、ある中学校の生徒たちが歴史の授業で学習した人物についてまとめたカードと、生徒たちの会話です。1～6の問いに答えなさい。

私の「推し」を紹介しよう。

A ① B フビライ・ハン 大勢(現在の北東)に翻るに勝利。 帝から征夷大将軍に任命され、②を執事。 命を受け、③を執事。

C 清少納言 宮廷に仕えた才能ある女性の人。 宮廷生活の体験を記した随筆「④」を執筆。

D フランシスコ・ザビエル 「に」を重んじ、道後にイエズス会を設立。 山形県にも来日。 山形県に上陸し、日本へのキリスト教の布教を開始。

E 孔子 孔子の言行を弟子たちがまとめた書物が「論語」。

F 源実朝 日本に伝来した「能」の代表者。 源氏物語の主人公。 源氏物語の主人公。 源氏物語の主人公。

- 1 (1)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 2 (2)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 3 (3)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 4 (4)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。

社-6

(2) 社会の問題

5 (5)に同じで、りんさんは、これまでの地理の学習をふまえて、愛知県の地図とその周辺の県境の調査を行うこと

資料3 大府とその周辺の府県境の調査に関する所見

資料4 りんさんが作成している地図

資料5 りんさんが作成した資料

- (1) りんさんは、資料3の統計情報をもとに資料4の主題図を作成しています。資料4で作成している主題図を完成させなさい。ただし、資料Bから読み取れることをもとにして、25字以上40字以内で書くこととします。
- (2) りんさんは、大府(2001年)したテーマパークがある場所には、かつて工場が立地していたことを知り、その変化の背景に関する資料5を作成して下のようにまとめを行いました。まとめの文中の[]に当てはまる語句を記入し、その語句を完成させなさい。

資料A 日本の主要工業地帯・地域の製造品出荷額の割合の変化

資料B 大府の製造業出荷額の変化

資料C 大府の製造業出荷額の割合

かつて工場があった大府の製造業が再開された背景として、阪神工業地帯において、企業が発展する他地域との競争等によって [] があがられる。

社-5

(2) 社会の問題

4 ①に同じで、次の文章の[X]、[Y]にあてはまることばの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。

②に同じで、ゆうさんは、「フビライ・ハン」のカードをつくった。りんさんに話を聞き、元の歴史的背景をもとに作成したカードを完成させた。その作成したカードの背景を説明しなさい。

③に同じで、ゆうさんは、「フビライ・ハン」のカードをつくった。りんさんに話を聞き、元の歴史的背景をもとに作成したカードを完成させた。その作成したカードの背景を説明しなさい。

- 1 (1)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 2 (2)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。
- 3 (3)に同じで、関東地方の7都県のうち、海に面していない都県の数を、地図上の長野県とその他の地域は日本でも特に標高の高い山が集中しています。長野県及び長野県と他県との県境に留意し、日本の標高ともいわれる、飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈の三つの山脈の総称をヨーロッパにありある山脈系にちなんで何というか、6字で答えなさい。

社-7

II なおさんは、新年表の①～④のてきごとがあった世界のようすについて、タブレットを用いて次のA～Dのようにまとめました。1～6の順に答えなさい。

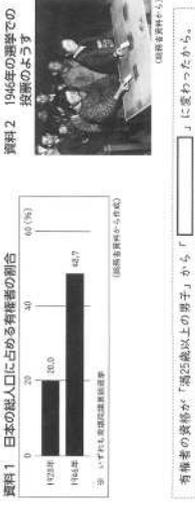
<p>A 新年表の①の時間の日本のようす</p> <p>経緯 アメリカのエイケン大統領が長官の①の演説に驚いて、閉会を命じた。</p> <p>結果 日本に不平等条約を結び、その結果として半島に日本とアメリカの勢力が広がった。日本は、閉会を命じた。</p>	<p>B 第一次世界大戦</p> <p>経緯 ドイツ、オーストリア、イタリアからなる同盟国とフランス、ロシアからなる連合国の対立。戦況が膠着し、死者数が増大した。戦況には同盟国の優力が優勢だった。同盟国は戦況の悪化を防ぐため、多量な兵器の生産と供給を始めた。</p> <p>結果 同盟国は戦況を悪化させた。同盟国は戦況を悪化させた。</p>
<p>C 大正時代の生活や文化</p> <p>経緯 大正時代の初期、会社に勤めるサラリーマン(サラリーマン)が増え、都市の生活が豊かになった。西洋文化が流入し、西洋文化が流入した。西洋文化が流入した。西洋文化が流入した。</p> <p>結果 西洋文化が流入した。西洋文化が流入した。西洋文化が流入した。西洋文化が流入した。</p>	<p>D 第二次世界大戦後の日本</p> <p>経緯 第二次世界大戦後の日本、空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。</p> <p>結果 空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。空襲による被害が多かった。</p>

- ①と②)にあてはまる最も適当な人ごととをそれぞれ書きなさい。
 - 新年表の③と④の間の時期に、日本は菅野の八幡製鉄所を設立しました。八幡製鉄所について述べた次の文章の⑤～⑧について、()からそれぞれ適当なものをを選んで書きなさい。
- 菅野の八幡製鉄所は(⑤) 日清(日露)戦争で得た賠償金をもとに(⑥)の(⑦) X・Y)に建設された。この製鉄所では、中国から輸入された鉄鉱石や石炭を(⑧)石油・石炭)を使って鉄鋼の生産が行われました。
- C)に関して、大正時代の日本のてきごとについて述べた文と最も適当なものを並びなさい。
 - 糸原に代わった新しい通信手段として、郵便制度が整えられた。
 - 国民が政治に参加する権利の確立をめざす自由政体運動が始まった。
 - 川俣製鉄所が、日本人初のノーベル文学賞を受賞した。
 - 東京・大阪・名古屋でラジオ放送が始まった。

社-8

(2) 社会の問題

4 新年表中の⑨と⑩の間に付いた写真は、資料1のように、日本の総人口に占める有権者の割合がそれまでと比べて大きく増加しました。このように有権者の割合が大きくなる傾向は、資料1の表を説明した次の()内の文中の()に当てはまる適切な語を記入し、文を完成させなさい。



5 D)に関して、資料3は1972年以前の沖縄に関する資料です。なぜこのようなものが必要だったのか、説明しなさい。ただし、資料3 沖縄から日本へ行く際に必要であったもの統治というところを用いることとします。



6 新年表中の⑪以降に記述されていることに関する資料を、次の三つを選び、そのてきごとが属した年代の正しい順に並びなさい。



社-9

(2) 社会の問題

5 ⑤に関して、裁判員制度について述べた次の文章の() X・Y))にあてはまることばの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。

裁判員制度の対象となるのは、殺人や強盗致死などの重大な犯罪について() X) 裁判員が参加するのは() Y) 裁判所で行われる第一審である。裁判員は、裁判から判決まで参加し、裁判官とともに被告人が有罪か無罪か、有罪の場合はどのような刑罰にすべきかを決定する。

6 ゆきさんたちは、探検活動のレポートを作成しました。次のレポートの一部を読んで、以下で説明しなさい。

① 貨物車のバス運行 ② ドローンによる宅配

③ 宅配業者の荷物運搬 ④ ドローンによる宅配

次は、ひらさんが、コンビニエンスストアでの職場体験学習の後に記入したレポートです。1～5の問いに答えなさい。

【印刷に決ったこと】

- ⑤: さまざまな国の人々が来ています。
- ⑥: レジの店員が商品を運ぶ人もいます。
- ⑦: 店員が、店の売り上げを左右する商品を選んでいました。
- ⑧: 店員は、毎日の売入と支出をパソコンで管理していました。
- ⑨: 商品の仕入れの量が商品によって違うこともわかりました。

【感想】

職場体験学習はとても大変でした。私の知らない多くの作業があることを知りました。それによって自分自身にも「ありがとう」と言ってもらってうれしくなりました。働くことの喜びがわかった気がします。

社-11

3 次の1、2の問いに答えなさい。答えを並べ替えることとを一つ選び、その記号を書きなさい。

I ひろさんやゆきさんたちは、社会科の授業の中で、「持続可能な社会の実現に向けて、私たちができることについて話し合おう」というテーマでグループで探検活動を行いました。次は、探検活動の過程を記録したものです。1～6の順に答えなさい。

探検記録

【探検する分野】

少子高齢化 人口・寿命 共生社会 政治や司法への参加

探検の内容

高齢者が安心して暮らせる取り組みにはどのようなものがあるのだろうか。

私たちのまわりの暮らしやサービスにはどのようなものがあるのだろうか。

国はどのようなように政治に参加しているのだろうか。

1 ⑤に関して、国の権力を、国会・内閣・裁判所が分担するしくみのこととを何というか、漢字4字で答えなさい。

2 ⑥に関して、日本国憲法で国民に保障されている自由権のうち、「経済活動の自由」に含まれるものとして最も適当なものを選びなさい。

3 ⑥に関して、資料1、資料2は、ユニバーサルデザインのバスに関する資料です。ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者など、さまざまな人々が安心して利用できることを目指す設計のことです。

4 ⑥に関して、ひらさんは、国会議員の活動について知るために、国会議員Aさんにインタビューを行いました。取材メモをもとに、Aさんは国会議員、選挙区議員のどちらか、選挙区議員であることを説明しなさい。

取材メモ

取材日 2024年7月

取材対象 国会議員 Aさん

【主な経歴】

1期目 2013年7月 北河代表区選出

2期目 2015年7月 任期満了

3期目 2017年7月 北河代表区選出

4期目 2019年7月 任期満了

5期目 2021年7月 北河代表区選出

【所属する委員会】

【主な公約】

選挙民が暮らしやすい社会の実現

社-10

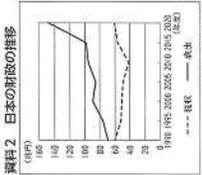
(2) 社会の問題

2 ④に関して、ひかるさんが、さまざまな基金について調べていくと、資料1のユニセフのマークを見つめました。ユニセフの活動内容の説明として最も適切なものを選びなさい。
 ア 世界の子どもたちの命と健康、教育を守るための活動をしている。
 イ 単一通貨を使用し、政治や外交面での統合に着手している。
 ウ アジア太平洋地域の国々で自由貿易を促進している。
 エ 国家間の争いを法的に解決するための裁判を行っている。
 3 ⑤に関して、日本銀行は、一般の銀行に貸し出しを行ったり、累次の調整を行ったりしています。このことについても述べた次の文章の①～④について、()からそれぞれ適切なものを選んで書きなさい。



日本銀行は、資金が不足した一般の銀行にお金を貸し出すことができる。このことから、日本銀行は「(ア)：政府・銀行」の銀行といわれる。日本銀行が、累次の調整のために一般の銀行から国債などを買うと、世の中に出回るお金は(イ)：増え・減り」、生産活動は(ウ)：活発になる・縮小される」。

4 ⑥に関して、国や自治体の一年間の収入を歳入、支出を歳出といい、歳入の主なものは税金の収入(徴収)です。
 (1) 資料2の2020年度の歳出と徴収との関係について、1990年度と比較してわかることを答えなさい。
 (2) 歳出を抑えるはたまたさきのある政策として最も適切なものを選びなさい。
 ア 医療保険の自己負担額を減らす。
 イ 公共施設等を公開して減額する。
 ウ 地方交付税交付金を減らす。
 エ 防衛関係費を増やす。
 5 ⑥に関して、ひかるさんは、消費税に興味をもち、調べてみると、税によって課税方法が異なることに気づきました。ひかるさんが調べた課税方法のうち、消費税の課税方法は、A、Bのどちらか、解答欄のあてはまる方を○で囲みなさい。また、資料3は、ひかるさんがこのコンピュースタートで買った物としたときのレシートの一部です。資料3のように、消費税の税率に違いを認めている理由を説明しなさい。ただし、資料3をもとに、負担の割合とすることばを用い、消費税の性質を明らかにしながら、解答欄に合わせて書くこととします。



ひかるさんが調べた課税方法
 A 低所得者、低所得者ともに、同じ税率で税を課せられる。
 B 低所得者には低い税率、高所得者には高い税率で税を課せられる。

社-12

(3) 社会の解答例

大問	配点	問題区分	解答例
1	31点	I	1 アフリカ(州) 2 エ 3 ウ 4 ア 5 シカゴ 6 インドの人口のほとんどを、牛肉を食べることを禁じられているヒンドゥー教徒と、豚肉を食べることを禁じられているイスラム教徒が占めているから。
		II	1 3 2 日本アルプス 3 a:イ b:ウ c:ア 4 ウ 5(1) 5(2) (2) 全国の製造品出荷額に占める割合が低下し、大阪府でも製造業事業所数が減少したこと(39字)
2	31点	I	1 ① 徳川家康 ② 枕草子 2 ア 3 万葉集 4 イ 5 い:C 5:B 6 X Y 分割して相続 御家人を救うことを目的として、御家人の領地の買入れや売買を禁止したり、御家人以外が御家人から買った土地を御家人に返却させたりしようとした
		II	1 ① ベリー ② 三國同盟 2 ②:日清 ④:Y ⑥:石炭 3 エ 4 満20歳以上の男女 5 当時、沖縄はアメリカ合衆国の統治の下におかれていたから。 ア → イ → エ
3	28点	I	1 三権分立 2 エ 3 誰もが乗り降りしやすいように、道路との段差を小さくしたり、なくしたりしている。 4 衆議院議員・参議院議員 (理由) Aさんの国会議員としての任期が6年であるから。 5 イ 6 家までの輸送手段を確保することで高齢者が出かけなくても生活必需品を届けるようにする(という目的。)(41字)
		II	1 イ 2 ア 3 ⑦:銀行 ⑧:増え ⑨:活発になる 4(1) 1990年度では歳出と徴収の差が小さいが、2020年度では歳出が徴収を大きく上回っている。 ウ 5 A・B (説明) (消費税には、)低所得者ほど負担の割合が高くなる性質があるため、生活必需品である食料品の税率を低くすることで、低所得者の負担を軽くしようとしている。

8 数学について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（数学）

問 題 内 容	学 年	県 正 答 率									
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1 基本的な計算・知識		71.0									
(1) 整数の四則計算	小	98.1									
(2) 分数の計算	小	89.0									
(3) 平方根の計算	中3	73.2									
(4) 最小公倍数	小	59.8									
(5) 逆数	中1	69.1									
2 二次方程式	中3	70.8									
3 文字式の利用	中1	71.3									
4 反比例	中2	56.4									
5 速さ	小	50.9									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1(1)、(2)は、よくできていた。(2)の誤答として4/15、8/15、13/15があった。 (3)では、誤答として$\sqrt{2}$、$3\sqrt{2}$があった。 (4)では、誤答として12が多かった。最小公倍数と最大公約数の意味を理解させたい。 (5)では、誤答として「ウ」が入るものが多かった。逆数の意味を理解させたい。 小問2は正答率が比較的高かった。誤答として無回答が多かった。 小問3は正答率が比較的高かった。誤答として「ア」が入るものが多かった。 小問4では、誤答として$2 \leq y \leq 2/3$があった。逆数の大小関係を理解するとともに、2と2/3の大小関係の矛盾に気づく必要がある。 小問5では、正答率が比較的低かった。誤答として5があった。授業では鹿児島県を題材とした問題等に取り組ませることで、数学の世界と日常生活の事象との結び付きを実感し、数学を実生活や日々の学習に生かそうとする態度を育成することが大切である。 											
2 数学的な見方や考え方		32.0									
1 確率	中2	43.8									
2 割合	小	51.7									
3 作図	中3	4.2									
4 三角形の合同の証明	中2	36.4									
5 連立方程式	中2	31.9									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、誤答として1を含めた7/36が多かった。素数の定義を着実に理解させたい。 小問2では、割合が高かったのは「2023年」としているものの、計算ミスが多かった。 小問3では、誤答として△ABCを二等辺三角形として考えているものや、線分BCを四等分しているものがあった。作図の授業等においても数学的な思考力・判断力・表現力の涵養を図るような活動が必要である。 小問4では、合同条件を理解しているものの論理的に表現できていない証明があった。 小問5では、正四面体や立方体の理解が不十分であり、立式ができていない解答があった。 											
3 データの活用		45.3									
1 平均値	小	42.4									
2 箱ひげ図とヒストグラム	中2	38.0									
① 箱ひげ図	中2	93.5									
② 箱ひげ図	中2	61.7									
③ 箱ひげ図	中2	86.4									
④ 箱ひげ図	中2	79.3									
4 箱ひげ図	中2	18.1									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、計算間違いが多かった。データ数が多い場合には、仮平均を活用して平均を計算する工夫も有効である。 小問2では、誤答として「ウ」とするものがあった。 小問3では、①③④に比べ②の正答率が低かった。箱ひげ図や四分位数についての知識・理解を着実に身に付けさせたい。 小問4では、誤答として二つある値の一方のみを答えているものがあった。箱ひげ図や四分位数について理解し、粘り強く考える姿勢が大切である。 											
4 関数とその応用		31.7									
1 関数 $y=ax^2$ のグラフ	中3	59.0									
2 (1) 1次関数のグラフ	中3	50.8									
(2) 1次関数の利用	中2	43.6									
3 1次関数のグラフ	中2	34.0									
4 関数の活用	中3	2.1									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1は、二択問題であったにもかかわらず、正答率が低かった。aが大きくなることでグラフの開きがどのように変化するかを、視覚的に学習することも重要である。 小問2(1)では、誤答として1次関数でないものがあり、小問2(2)では、高さをy座標で考えているものがあった。 小問3では、誤答として「ア、ウ、エ」があった。小問4では、無回答や部分点が多かった。 普段の授業において対話的な学びの充実やICTの活用は重要であり、タブレット等を活用して関数のグラフを描画する活動は、数学的な思考力・判断力の涵養に効果的である。 											
5 平面図形とその応用		17.4									
1 正多角形の1つの内角の大きさ	中2	65.2									
2 正多角形の面積	中3	16.1									
3 正多角形の周の長さとの面積の比	中3	29.9									
(1) 三平方の定理と近似値	中3	7.5									
(2) 三平方の定理と近似値	中3	0.1									
<ul style="list-style-type: none"> 小問1はよくできていたが、誤答として720°があった。 小問2では、正三角形Sと正六角形Jの値の正答率が低かった。小問3は三択であったが、正答率が低かった。 小問4(1)では、誤答として$4\sqrt{2}$があった。小問4(2)では、無回答が多かった。 日常生活や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を粘り強く考察したりする活動を授業中や探究活動の中で充実させていくことが大切である。 											

(注) 学年：当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。
 (注) ☆：目安点対象の要素を含むの意。

(2) 数学の問題

2 2次方程式 $x^2 - 3x + 1 = 0$ を解きなさい。

1 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) $7 + 18 \div 3$ を計算しなさい。

(2) $\frac{2}{5} - \frac{1}{6} \times \frac{5}{3}$ を計算しなさい。

(3) $\sqrt{32} - (\frac{6}{\sqrt{2}} + \sqrt{8})$ を計算しなさい。

(4) 60と84の最小公倍数を求めなさい。

(5) 下のア～エのうち、その数の逆数が1より大きいものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア $\frac{3}{4}$ イ 3 ウ $-\frac{1}{2}$ エ 0.9

3 aを正の数、bを負の数とするとき、式の値がいつも正の数になるものを、下のア～エの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア $2a + b$ イ $a - 3b$ ウ $3 - a - b$ エ $(ab)^2$

4 反比例 $y = \frac{2}{x}$ の式がある。xの整数を $1 \leq x \leq 3$ とすると、yの整数を求めなさい。

数-3

数-2

2 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 大小2つさいごを同時に投げるとき、出る目の積が素数になる確率を求めなさい。

- 2 下の表は、2014年と2023年の日本における外国の航空会社が運航するクルーズ船の寄港回数の多い港湾と回数それぞれを示したものです。日本における外国の航空会社が運航するクルーズ船の寄港回数の合計に対する鹿児島への寄港回数の割合が高かったのは、2014年と2023年のどちらですか。解答欄の「2014年」と「2023年」のどちらかを○で囲みなさい。また、その年の寄港回数の合計に対する鹿児島への寄港回数の割合は、何%にあたるかを求めなさい。ただし、小数第2位を四捨五入することとします。

【2014年】

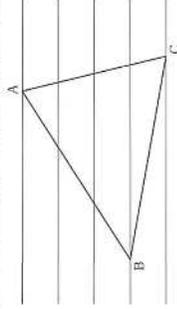
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	合計
港湾名	博多	長崎	石垣	那覇	横浜	神戸	小樽	鹿児島	宮崎	新加坡		653
回数	90	70	69	68	48	32	31	29	27	21	159	653

【2023年】

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	合計
港湾名	横浜	横浜	長崎	鹿児島	那覇	博多	成田	神戸	清水	高知	大阪	
回数	101	95	78	72	59	58	54	53	51	46	597	1264

(国土交通省資料から作成)

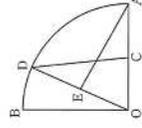
- 3 下の図のような等腰三角形ABCが引かれているノートがあり、△ABCの各頂点が図線上にあります。BP:PC=2:1 となるように辺BC上の点Pを定規とコンパスを用いて作図しなさい。ただし、点Pの位置を示す文字も書き入れ、作図に用いた線も残しておくなさい。



数-4

数-5

(2) 数学の問題



- 4 右の図のような中心角90°のおうぎ形OABがあり、線分OAの中点をとし、 \overline{AB} 上に点Dをとり、線分ODの中点をEとします。 $\triangle AOE \equiv \triangle DOC$ であることを証明しなさい。

- 5 正四面体と立方体の模型がそれぞれ何個かあります。これらの模型の面の総数が128面、頂点の総数が156個であるとき、正四面体と立方体の模型の個数をそれぞれ求めなさい。ただし、正四面体の模型をx個、立方体の模型をy個として、その方程式と計算過程も書きなさい。

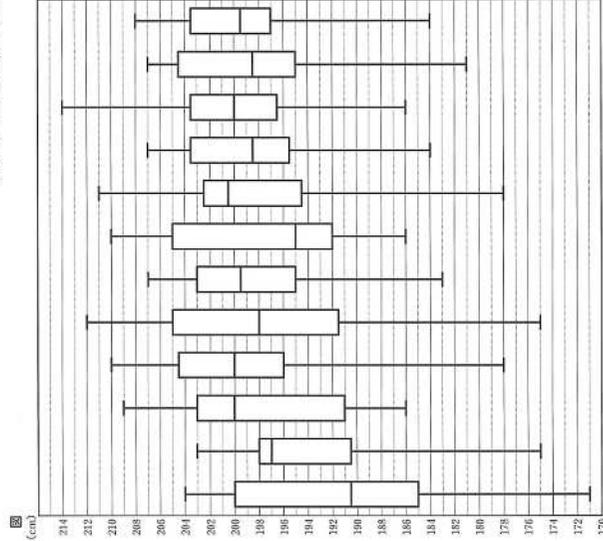
3

- 下の表は、2024年に開催されたパリオリンピックにおける男子バレーボール日本チームに登録された選手の背番号と身長をまとめたものです。また、図は出場12か国の登録された選手12人ずつの身長を箱ひげ図で表したものです。なお、各選手の身長はすべて整数で表されています。次の1～4の問いに答えなさい。

表

背番号	1	2	3	4	5	6	8	10	12	14	15	20
身長 (cm)	187	200	183	190	195	204	175	202	188	191	200	171

(国際バレーボール連盟資料から作成)

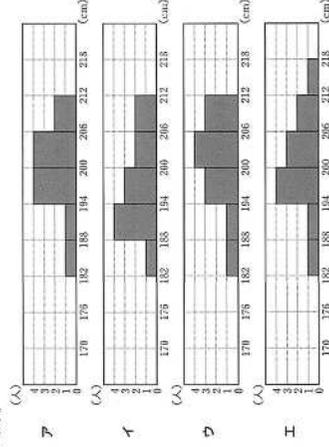


数-6

(国際バレーボール連盟資料から作成)

(2) 数学の問題

- 1 日本チームに登録された選手の身長の平均値を求めなさい。
 2 下のア～エの上istogramのうち、図のフランチスチームと同じデータを使ってまとめたものはどれですか。最も適当なものを下のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。なお、ア～エにおいて、例えば、182 cm以上188 cm未満の選手がそれぞれ1人いたことを表しています。



- 3 図の箱ひげ図から読み取れることとして、次の①～④は「正しい」、「正しくない」、「図からはわからない」のどれですか。最も適当なものを下のア～ウの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 最も身長が高い選手は、スロベニアチームにいる。
 ② 出場12か国の登録された選手のうち、6番目に身長が高い選手はブラジルチームにいる。
 ③ 第3四分位数が最も大きいチームは、アメリカチームである。
 ④ 四分位数間幅が最も小さいチームは、ポーランドチームである。
 ア 正しい イ 正しくない ウ 図からはわからない

- 4 下のデータは、図のドイツチームに登録された12人の選手のうち、11人の選手の身長を低い方から順に並べかえたものです。図を利用して、残り1人の身長として考えられる整数の値をすべて求めなさい。

11人の選手の身長 (cm)	185	190	191	193	194	196	200	204	206	208	210
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

数-7

- 4 ユウさんとレンさんは、授業中にタブレット端末でグラフ作成アプリを使って、関数 $y = ax^2$ について調べています。下は授業のある場面での【会話】です。次の1~4の問いに答えなさい。

【会話】

先生：今日は関数 $y = ax^2$ について、グラフ作成アプリを使って考えていきましょう。まずは、 $a = 1$ とすると画面(図1)のようなグラフが提示されますね。ユウ：画面の●を左右に動かすとグラフの形が a の値に対応するようになると動かしやすね。レン：本当だ。①画面の●を右に動かすとグラフの開き方が変化したよ。先生：では、次の【問題】を考えてみましょう。

【問題】

右の図のように、関数 $y = ax^2$ のグラフと、そのグラフ上にある点Pがあり、点Qの座標は(0, 2)とします。また、直線PQと関数 $y = ax^2$ のグラフの2つの交点のうち、Pでない方の点をRとします。このとき、△OPRの面積が5となるような a の値を求めなさい。ただし、 $a > 0$ とします。

ユウ：まずは、 $a = 1$ のときの△OPRの面積を考えてみようよ。レン：② $a = 1$ のときの直線PQの式を求められたよ。タブレット端末に直線PQの式を入力すると、点P, Rが画面(図2)のようになったよ。ユウ：△OPRの面積は△OPQと△OQRの面積の和を求めたら良さそうだね。一緒に考えてみよう。レン：……よし、△OPRの面積を求められたよ。先生：正解です。よくできていますね。ユウ：この関数で△OPRの面積が5のときの a の値を求めてみようよ。レン：どこのように考えていけばいいのかな。ユウ：画面の●を左右に動かしたら何かわかるかもしれないよ。レン： a の値によって③点P, Qを通る1次関数のグラフが右下がりになるときがあるよ。先生：よいところに気づきましたね。画面の●を左右に動かしてみると他にも気づくことがあります。調べてみましょう。

数-8

- 5 ユウさんとレンさんは、図形のもつ性質や関係について調べています。下の【会話】を読み、次の1~4の問いに答えなさい。

【会話】

ユウ：昨日ハチの巣を見つけたんだけど、ハチの巣穴は六角形の形をしていること(図1)が多いよね。円とか他形でも良さそうなのはどうだろう。調べてみようよ。

レン：今、調べていたら、巣を作る上で正六角形は合理的な形なんだって。合同な正多角形を使ってすき間なくしきつめることができるのは、正三角形、正方形、正六角形の3種類しか存在しないようだよ。

ユウ：確かに、円だと隙間が大きい(図2の斜線部分)ができてしまうね。正六角形の1つの内角の大きさは①度程度であるから、正六角形をすき間なくしきつめることができるね。

レン：そして、その3種類の正多角形の周の長さが等しいとき、それぞれ面積を求めると各図形の面積比がわかるよ。このことから、正三角形、正方形、正六角形の面積が等しいとき、それぞれの高の長さを比較すると正六角形の周の長さが②ということがわかるね。

ユウ：正六角形は面白い性質をもっているんだね。そういえば、③アルキメデスは円周率の値を求めたために、最初は正六角形の周の長さを利用して考えようだよ。

レン：面白いそうだね。実際に計算を求めてみよう。

- 1 ① ② ③ に入る角度を求めなさい。
- 2 下線部①について、正三角形、正方形、正六角形の面積をそれぞれS, T, Uとします。3種類の多角形の周の長さを12a (aは正の定数)として、S, T, Uの値をそれぞれaを用いて表しなさい。
- 3 ④ ⑤ に入ることばとして最も適切なものを、下のア~ウの中から1つ選び記号で答えなさい。
- ア 正三角形と正方形の周の長さと同じ
イ 正三角形と正方形の周の長さよりも短い
ウ 正三角形と正方形の周の長さよりも長い

数-10

- 1 下線部①について、レンさんが画面の●を右に動かしたとき、グラフの開き方はどのように変化しましたか。解答欄の「大きくなる」と「小さくなる」のどちらかを○で囲みなさい。
- 2 $a = 1$ のとき、次の(1), (2)の問いに答えなさい。

- (1) 下線部②について、直線PQの式を求めなさい。
- (2) 下線部③について、タブレット端末の画面(図2)を確認すると、点Rのx座標が-1でした。このとき、△OPQと△OQRの面積をそれぞれ求めなさい。

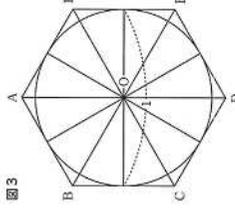
- 3 下線部④について、2点P, Qを通る1次関数のグラフが右下がりになるような、 a の値を下のア~エの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア $a = \frac{1}{2}$ イ $a = \frac{4}{3}$ ウ $a = \frac{1}{4}$ エ $a = \frac{2}{5}$

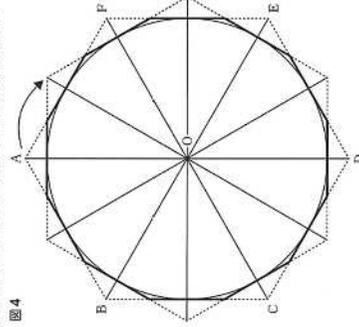
- 4 【会話】中にある【問題】を解きなさい。ただし、求め方が計算過程も書きなさい。

数-9

- 4 下線部①について、円周率の近似値は、円周の長さが円の外側に接する正多角形の周の長さより小さいことを利用して考えられることもできます。図3のように、直径1の円Oとこの円の外側に接する正六角形ABCDEFがあります。このとき、円Oの円周の長さはよとなり、次の(1), (2)の問いに答えなさい。
- (1) 正六角形ABCDEFの周の長さをLとします。このとき、Lの値を求めなさい。また、 $\sqrt{3} = 1.732$ として、Lを近似値で表しなさい。



- (2) ユウさんとレンさんは図4のように正六角形ABCDEFを、点Oを中心として時計回りの方向に30°回転させた正六角形と、もとの正六角形ABCDEFの各辺の交点によってできる正十二角形の周の長さを利用すると、円周率の値により近い値を求めることができると考えました。図4の正十二角形の周の長さをMとすると、Mの値を求めなさい。また、 $\sqrt{3} = 1.732$ として、Mを近似値で表しなさい。ただし、求め方が計算過程も書きなさい。



数-11

(3) 数学の解答例

大問	配点	小問	解答例
1	27点	3点 1(1)	13
		3点 (2)	$\frac{7}{15}$
		3点 (3)	$-\sqrt{2}$
		3点 (4)	420
		3点 (5)	A, I
		3点 2	$(x =) \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$
		3点 3	I, I
2	18点	3点 1	$\frac{1}{6}$
		3点 2	2014年・2023年 (割合) 6.2 (%)
		4点 3	3
		4点 4	4
		4点 5	5
3	14点	3点 1	190.5 (cm)
		3点 2	A
		1点 3①	ア
		1点 ②	ウ
		1点 ③	イ
		4点 ④	イ
4	16点	2点 1	大きくなる・小さくなる
		2点 2(1)	$y = x + 2$
		4点 (2)	$(\triangle OPQ =) 2$ $(\triangle OQR =) 1$
		3点 3	ウ, I
		5点 4	4
5	15点	2点 1	120 (度)
		3点 2	$(S =) 4\sqrt{3}a^2$ $(T =) 9a^2$ $(U =) 6\sqrt{3}a^2$
		2点 3	ウ
		3点 4(1)	$(L =) 2\sqrt{3}$ $(L \text{の近似値}) 3.464$
		5点 (2)	(2)

9 理科について

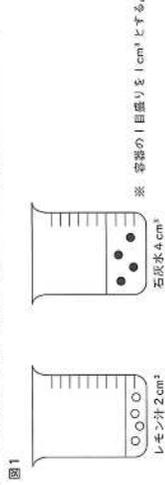
(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考(理科)

問	題	内	容	学年	正 答 率										
					0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1	領域を融合させた問題					68.5									
	1	顕微鏡の使い方	中1	75.0											
	2	反応にもなり熱	中2	83.7											
	3	ロケットの打ち上げ	中2	64.3											
	4	空気中の水蒸気量	中2	41.5											
	(1)	外来生物	中3	90.1											
	(2)	プラスチックの性質	中3	54.2											
	(3)	再生可能なエネルギー資源	中3	62.9											
	(4)	持続可能な社会	中3	92.3											
<ul style="list-style-type: none"> 小問1では、「ア」、「エ」の誤答がみられた。目録の授業より、観察・実験器具の正しい扱い方を身に付けさせたい。 小問3では、正答率が64.3%であった。身近な事象とも関連させながら、正しい知識を身に付けさせたい。 小問4では、正答率が41.5%と低かった。一つの事象に多面的に思考し判断できる力を育成したい。 小問5(1)(4)は、正答率が90.1%、92.3%と高かった。用語を正しく捉えるようにさせたい。 															
2	地球領域の問題					42.1									
I	1	断層	中1	59.5											
	2	地震と津波	中1	32.3											
	(1)	初期微動継続時間	中1	87.0											
	(2)	緊急地震速報	中1	9.8											
II	1	惑星	中3	61.6											
	2	金星の観察	中3	54.1											
	(1)	金星の見え方	中3	23.8											
	(2)	金星の見え方	中3	30.7											
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問2は、正答率が低く、プレート間の相互関係や津波の原因について正しく理解できていないことがわかる。 中間I小問3(1)は、正答率が87.0%と高く、基本的な知識の定着が比較的できている。 中間I小問3(2)は、正答率が8.8%と低く、考えられた条件を複数組み合わせて思考・判断する力が不足していることがわかる。 中間II小問2は、正答率が54.1%と低く、金星の観察の際の形や大きさの変化についての理解が不十分であることがわかる。 中間II小問3(1)は、正答率が23.8%と低い。金星の見え方についての仮説検証する力が課題がみられる。 中間II小問3(2)は、正答率が30.7%と低く、「エ」の誤答が多くみられた。惑星の見え方の空間把握に課題がみられる。 															
3	粒子領域の問題					38.5									
I	1	中和反応の化学反応式	中3	48.5											
	2	水溶液中のイオンの数の変化	中3	20.8											
	(1)	中和反応の量的な関係	中3	40.1											
	(2)	中和反応の量的な関係	中3	37.7											
II	1	燃焼	中2	66.3											
	2	燃焼による質量変化の考察	中2	17.4											
	3	非電解質	中2	84.2											
	(2)	鉄の燃焼(酸化の割合)	中2	13.9											
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1は、正答率が48.5%と低い。基本的な知識の定着が十分に図られていないと考えられる。 中間I小問2は、正答率が20.8%と低く、中和反応におけるイオンの量的な関係の理解ができていないことがわかる。 中間I小問3は、正答率が40%程度であった。粒子モデルを用いて理解と思考力を高められるような授業展開を工夫したい。 中間II小問1, 3は、正答率が66.3%、84.2%と高かった。 中間II小問2は、正答率が17.4%と低かった。二酸化炭素と水の片方のみを答えたり、状態変化と解釈できる誤答が多くみられた。 中間II小問4は、正答率が13.9%と低かった。実験データと理論値を組み合わせて考察するような実験も取り入れた。 															
4	生命領域の問題					66.1									
I	1	消化酵素	中2	87.4											
	2	ペプチド反応	中2	73.2											
	3	実験の計画・操作	中2	42.1											
	4	実験結果の考察	中2	57.0											
II	1	無セキツイ動物	中3	67.6											
	2	進化の図	中3	48.0											
	(1)	動物の分類①	中3	97.3											
	(2)	動物の分類②	中2	62.3											
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1, 2は、正答率が80%前後と高い。た液による消化に関する基本的な内容の定着は図られていると考えられる。 中間I小問3は、正答率が42.1%と低い。授業の中で、実験について、操作の意図や実験の正しい方法をよく理解しておきたい。 中間I小問4は、正答率が57.0%であった。授業の中で、実験について、目的をおさえた上で、結果、考察する時間を充たせたい。 中間II小問2は、正答率が48.0%であり、「エ」の誤答が多くみられた。 中間II小問3は、正答率が(1)97.3%、(2)は62.3%であった。動物の分類の基準について正しく理解したうえで、正しい文章を組み立てる読解力や表現力が必要であった。 															
5	エネルギー領域の問題					55.5									
I	1	フックの法則	中1	77.3											
	2	月面と地球上での重さの比較	中1	73.7											
	3	力の合成	中3	65.7											
	4	電子てんびんの示す値	中3	25.4											
II	(1)	回路図	中2	44.6											
	(2)	オームの法則	中2	58.7											
	2	交流の周波数、音の高さ	中12	59.7											
<ul style="list-style-type: none"> 中間I小問1(1)(2)は、正答率がそれぞれ77.3%、73.7%と高く、基本的な内容の定着がみられた。 中間I小問4は、正答率が25.4%と低い。フックの法則と力のつりあいを考えるような複数の手順を踏んで思考する場面も取り入れた。 中間II小問1(1)は、正答率が44.6%であった。電圧計を直列につなぐたり、抵抗器を2個つなぐなど、基本的な理解の不足や問題の状況をつかめていない誤答がみられた。 中間II小問1(2)は、正答率が58.7%であった。グラフの傾きと抵抗値の関係の理解が不十分であることがわかった。 中間II小問2では、正答率が59.7%であった。bの周波数の正答率が低く、cでは音の高さと大きさの概念を混同した誤答がみられた。 															

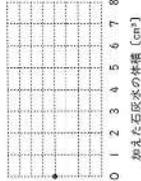
(注) 学年:当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。
(注) ☆:目安対象の要素を含む意。

3

- 次のI, IIの各問いに答えなさい。答えを選ぶ問いについては記号で答えなさい。
- I そらさんだいちさんは、ムラサキキャベツ液がpHの変化を知る指示薬になることを学んだ。指示薬をもって調べてみると、色が変化するのはアントシアニンという物質で、ブドウやサツマイモの皮などに含まれることがわかった。そこで、鹿児島県の特産物でもあるサツマイモの皮から指示薬をつくり(例下、サツマイモ液を1cc加える)、次の実験1, 2を行った。
- 実験1 水、うすい塩酸、うすい水酸化ナトリウム水溶液にサツマイモ液を少量加えたときの色は、それぞれ紫色、黄色、黒色であった。
- 実験2 レモン汁と石灰水を用意した。レモン汁2cm³にサツマイモ液を少量加えると紫色になった。このレモン汁と石灰水を少しずつ加えると、4cm³加えたところで水溶液は中性になり、黄色になった。さらに石灰水を加えると紫色になった。
- 図1は、用いたレモン汁2cm³中の水素イオンと石灰水4cm³中の水酸化物イオンのようすをモデルで表したものである。ただし、水素イオンを○、水酸化物イオンを●とする。



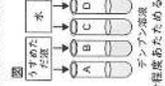
- 1 実験2で水溶液が紫色になったのは、レモン汁と石灰水を混ぜ合わせたことにより、中和が起こるためである。中和は水素イオンと水酸化物イオンが結びつく反応である。この反応を水素イオンと水酸化物イオンの化学式を用いて表しなさい。
- 2 レモン汁2cm³に含まれる水素イオンの数を
 図2の点●で記した。実験2で、石灰水を8cm³まで少しずつ加えていくと、水溶液中の水素イオンと水酸化物イオンの数は、それぞれどのように変化していくか。解答欄の図に水溶液中の水素イオンの数を黒線(——)で、水酸化物イオンの数を破線(-----)で書きなさい。
- 3 さらに、そらさんだいちさんは、実験2で用いたレモン汁の体積や濃度を変えると、中和に必要な石灰水の体積がどのように変化するかを調べるために実験3を行った。
- 実験3 次の①, ②の水溶液に少量のサツマイモ液を加えた後、水溶液が中性になり、紫色になるまで石灰水を少しずつ加えていった。



理-6

4

- I あかねさんとかんさんは、大液によって消化が起こることを確かめる実験を行うことにした。
- 実験
- ① ① 口の中に脱脂綿を入れて、1分間待つ。その後、脱脂綿をビーカーに入れて、中に水を少量入れてガラス棒でかき混ぜる。
- ② ② 図のように、4本の試験管A, B, C, Dを用意し、デンプン液を5cm³ずつ入れる。その後、A, Bにはそれぞれ1cm³のうすめた石灰水を入れる。C, Dにはそれぞれ1cm³の水を入れ、ふり混ぜる。
- ③ ビーカーに入れた約40℃の湯で、4本の試験管A, B, C, Dを10分間保温させた。A, Cにはヨウ素液を入れる。B, Dにはベンジダクト液を入れる。これは実験後の検査である。ただし、には同じことばが当てはまるものとする。



あかね：予想どおり、AとDは変化してCは黄色に変化しているね。でも、試験管Bは、予想どおしなかった。大液によって消化が起こることを確かめる実験を行うことにした。

か：ベンジダクト液を入れた試験管はが必要であったね。この操作をしていないから変化しなかったんだ。

あかね：じいちゃん、BとDはこの操作をしてみよう。(操作後)

か：な、やってみようか。Bはに変化して、Dは変化しなかったね。これらの結果からわかることをレポートにまとめてみよう。

- I 大液に含まれ、デンプンの分解にはたらく消化酵素はどれか、答えなさい。
- 2 にあるのはどれとどれか、答えなさい。
- A 緑色 I 黄色 U 赤褐色
- 3 にあるのはどれとどれか、答えなさい。
- 4 あかねさんとかんさんがレポートにまとめる内容として最も適切なものはどれか、答えなさい。
- A 試験管AとCの結果から、大液によって麦芽糖などの糖がなくなることが確認でき、試験管BとDの結果から、大液によってデンプンが分解されたことが確認できる。
- I 試験管AとCの結果から、大液によって麦芽糖などの糖がなくなることが確認でき、試験管BとDの結果から、大液によってデンプンが分解されたことが確認できる。
- U 試験管AとCの結果から、大液によってデンプンが分解されたことが確認できる。試験管BとDの結果から、大液によって麦芽糖などの糖がなくなることが確認できる。

理-8

(2) 理科の問題

- ① レモン汁2cm³に、同じ濃度のレモン汁2cm³を加えて全体の体積を4cm³にした水溶液
- ② レモン汁2cm³に、水2cm³を加えて全体の体積を4cm³にした水溶液
- (I) ①の水溶液を中性にするのに必要な石灰水の体積とその石灰水中の水酸化物イオンのようすを、図1を参考にイオンのモデルで表しなさい。ただし、密器の1目盛りを1cm³とする。
- (II) ②の水溶液を中性にするのに必要な石灰水の体積は何cm³になるか、答えなさい。

- II ちほろさんは、物質にはさまざまな性質のちがいがあふれていることを学んだ。その後、授業の中で、物質の性質のちがいをよく出すために、塩化ナトリウム、砂糖、スチールワール(鉄)を用いて、次の実験を行った。

実験

- ① 各物質の質量を測定した。
- ② 物質をそれぞれガラスバーナーで加熱したときのようすを観察した。ただし、スチールワールは、ガラス管で息を吹き込みながら加熱した。
- ③ ②で物質が燃えた場合は、しばらく燃やした。その後、冷めてから各物質の質量を測定した。

次に、ちほろさんが、実験の結果について表にまとめ、考察したノートの一部である。

物質	加熱したときのようす	加熱前の質量	加熱後の質量
塩化ナトリウム	燃えなかった	4.5g	4.5g
砂糖	燃えた	4.1g	0.8g
スチールワール	燃えた	3.8g	4.6g

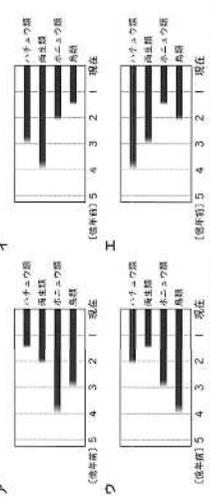
実験結果から、物質には、燃えるものと燃えないものがあることや、加熱の前と後で質量が変化するものと変化しないものがあることがわかった。

- 1 砂糖やスチールワールが燃えるときのようすに、物質が、熱や灰を出しながら激しく酸化することを示しているか、答えなさい。
- 2 砂糖が燃える前と後で、砂糖の質量が激しく減ったのはなぜか、説明しなさい。
- 3 塩化ナトリウムと砂糖は、どちらも水に溶ける。しかし、塩化ナトリウム水溶液は電流が流れるが、砂糖の水溶液は電流が流れないというちがいがあふれている。砂糖のようすに、水にとわいて電流が流れる物質を何というか、答えなさい。
- 4 授業の中で、先生が、「鉄が燃える」と、鉄と酸素が2:8の質量比で反応する」と話していた。今この実験に高い、鉄と酸素がこの質量比で反応すると考えた場合、用いたスチールワール3.8gのうち、何%が酸化されたことになるか、小数第1位を四捨五入して答えなさい。

理-7

(2) 理科の問題

- II ひろみさんとしんじさんは、さまざまな生物の進化形態について興味をもち、これまでに発見された化石をもとに、それぞれの生物のなかが生息していたおおよその期間を下の図のようにまとめた。
- 1 動物の骨からDNAは取り出されることがわかっており、かちんをえんじたり採取したりするはたらきをして、この図を部分というか、答えなさい。
- 2 図のの何との部分として最も適切なものはどれか、答えなさい。



- ウ ひろみさんは、学校で習ったように、サウロサウルス、ティラノサウルス、トリックスター、ニホンザルのそれぞれの特徴についてまとめたカードを作成した。これら7枚のカードの中から、ひろみさんが1枚を選び、その運んだカードをひろみさんとしんじさんの会話で分ることを示した。次に、そのときのひろみさんとしんじさんの会話である。

ひろみ：まず、ルールを教えるね。質問は3回までです。これまでに学んだ、生き物は分類する特徴で質問してくださいね。回答は「はい」「いいえ」で答えます。

では、質問をどうぞ。

しんじ：

ひろみ：はい。

しんじ：

ひろみ：いいえ。

しんじ：おかった。ひろみさんが選んだのは、ニホンザルのカードです。

ひろみ：すごいね。2回の質問で正解したね。

- (I) にあるのはまる質問はどれか、答えなさい。
- A えらんで呼吸しますか。 I 骨髄はありますか。
- U 水中で生活していますか。 U うろこでおおわれていますか。
- (II) にあるのはまる質問を書きなさい。ただし、問う内容は一つとします。

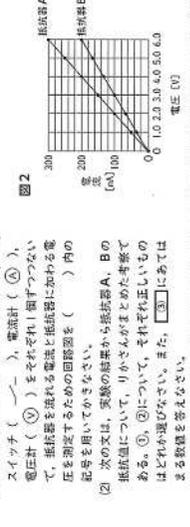
理-9

(2) 理科の問題

Ⅱ リカさんは、電気が家庭のコンセントまで運ばれてくるしくみについて探究した。その結果、レポートを作成し、図1のような実験を行った。

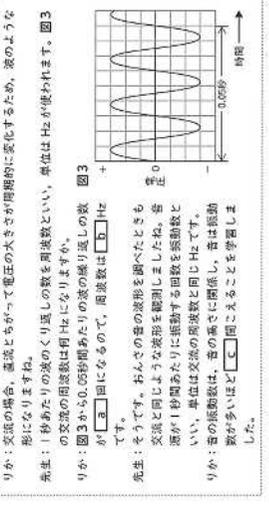
【電気が家庭のコンセントまで運ばれてくるしくみについて】
 発電所から家庭へ電気が運ばれてくるしくみは、送電線の電圧降下によって熱が発生し、電線エネルギーの一部は失われてしまいます。そこで、送電線に電圧降下の小さい変圧器を用いて、電線の電圧を小さくしています。家庭のコンセントに供給される電圧は、向かい屋敷間に電圧を変化する変圧器です。変圧器には、変圧器を用いて電圧を簡単に変えられる利便性があり、家庭のコンセントの交流電圧は、変圧器で100Vや200Vの電圧に変えられています。

1 リカさんは、図1に示して、2種類の抵抗器A、Bのそれぞれについて、加える電圧を変えて電流の変化を調べる実験を行った。図2は、この実験の結果をグラフに表したものである。



③(ア) 抵抗器Aの抵抗値は ④(イ) 大きい ⑤(イ) 大きい

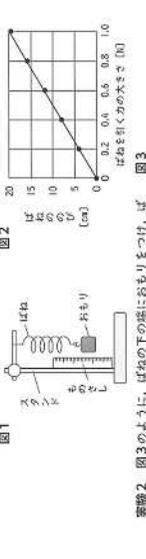
2 リカさんは、図1の下線部分に関して、先生とオシロスコープで交流の電圧のようすを調べたところ、図3のようになった。次は、そのときのリカさんと先生の会話である。



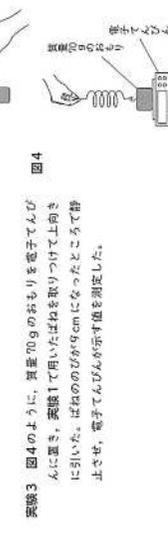
理-11

5 次のⅠ、Ⅱの各問いに答えなさい。空を線が通っているところは記号で答えなさい。
 Ⅰ ばねを引く力の大きさをばねのびとの関係を探るために、次の実験1～3を行った。ただし、質量100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとする。

実験1 図1のように、スタンドにばねをつくり、そのばねの下の端におもりをつけ、ばねのびを測定した。図2は、図1のばねに質量の異なるおもりをつけかけたが、ばねを引く力の大きさとばねのびとの関係を探った結果を、グラフに表したものである。



実験2 図3のように、ばねの下の端におもりをつけ、ばねにおもりをつるした状態でおもりを糸で水平方向に引いて静止させた。このとき、糸の方向に對してばねのびは45°であった。



実験3 図4のように、質量70gのおもりを電子てんびんに置き、実験1で用いたばねを取りつけて上向きに引いた。ばねのびが9cmになったところまで静止させ、電子てんびんが示す値を測定した。

1 実験1の結果について、図2より、ばねのびは、ばねを引く力の大きさに比例することを知った。この関係を用いたばねの強さについて、答えなさい。
 2 次の文章は、実験1を月面上で行った場合について考えたものである。①、②について、それぞれ正しいものをどれか、答えなさい。
 月面上では③(ア) 質量 イ 重力の大きさ が地球上の約6分の1になる。そのため、ばねに同じおもりをつるした場合、地球上で行った実験に比べて月面上ではばねのびは④(ア) 小さくなる イ 大きくなる ウ 変わらない。
 3 実験2について、ばねがおもりを引く力とおもりが糸を引く力の合力を、解答欄の方眼紙に矢印を用いてかきなさい。
 4 実験3について、電子てんびんが示す値として最も適当なものはどれか、答えなさい。
 ア 25g イ 35g ウ 45g エ 55g

理-10

(3) 理科の解答例

大問	配点	中間	小問	解答例
1	18点		1 (1) 2 3 4 5 (1) 2 (2) 2 (3) 2 (4)	ウ ① ア ② ア イ ウ → ア → イ 外来生物 くさりにくい性質 水か、風力、太陽光 エ
2	18点	I II	1 2 3 (1) 3 (2) 1 2 3 (1) 3 (2)	新暦 ウ ウ 17 [秒後] 感量 B → C → A 金量の大きさが変化すること。
3	18点	I II	1 2 3 (1) 2 (2) 1 2 3 (1) 3 (2)	$H^+ + OH^- \rightarrow H_2O$ 4 [cm ³] 燃焼 二酸化炭素と水蒸気(水)が発生したため。 非電解質 55 [%]
4	18点	I II	1 2 3 4 1 2 3 (1) 3 (2)	エ ウ ウ ガスバーナーで加熱する エ 外骨格 イ イ 子の生まれ方は、卵生ですか。
5	18点	I II	1 2 3 4 1 (1) 2 (2) 2 a 3 b 60 c 高く	フック [の法則] ① イ ② ア ア ① ア ② イ ③ 30 3 60 高く

10 英語について

(1) 大問・小問別正答率と教科指導上の参考（英語）

問題内容	学年	県 正 答 率									
		0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1 放送による聞き取りテスト		62.4									
1 対話の内容に合う絵を選択する問題	中1	98.6									
2 対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中1	94.4									
3 対話を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中2	96.0									
4 対話を聞いて、概要を捉える問題	中1	63.8									
5 スピーチを聞いて、概要を捉える問題	中2	82.9									
6 説明を聞いて、必要な情報を聞き取る問題	中3	30.0									
7 スピーチを聞いて、話の要点を捉える問題	中3	15.4									
8 対話を聞いて、英語の質問に対する答えを英語で書く問題	中2	17.9									
<p>・大問1は、「聞くこと」に関する問題を出題した。「聞くこと」の理解力をみる小問や、対話や説明に関する英語の問いを聞き取り、英語で解答する小問、登場人物の立場となって対話の流れに沿った発言を考えて書く小問を出題した。</p> <p>・「聞くこと」の理解力をみる問題（小問1, 2, 3）の正答率は高かったが、聞いたことに関して英語や英文で書いて解答する問題（小問7, 8）は正答率が低かった。聞くことに関する思考・判断・表現を評価する問題の正答率が低かった。</p> <p>・授業では、生徒が英語で積極的に話し合いを行う言語活動や英語特有の音声や綴りの発音の関係を習熟する練習を多く取り入れたい。目的意識、状況に応じて意識させて、文脈や使用場面に応じて、適切にコミュニケーションを図れるかどうかを確認しながら、指導したい。</p> <p>・聞き取った内容に関して自らの考えや意図を適切に表現できるよう、基本的な語いや英文を身に付けさせたい。</p>											
2 適切な表現力を見る問題		42.4									
1 ① 対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中1	67.4									
2 ② 対話の流れに合う口語表現を選択する問題	中1	83.6									
3 ① 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中1	70.6									
4 ② 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中2	34.2									
5 ③ 文脈と語義から空所に適切な語を補う問題	中3	43.1									
6 (1) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中1	37.3									
7 (2) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中3	22.1									
8 (3) 文脈に合わせて、文法に関する知識を適切に使って書く問題	中2	32.4									
9 (4) フラッシュに従って、時系列にまとめるある英文を書く問題	中3	33.6									
10 (5) 図を参考に、自分の意見を英語で書く問題	中3	34.1									
<p>・大問2は、表現の領域に関する問題を出題した。口語表現やコミュニケーションの目的を果たすための文法事項や基本的な語句の知識・技能が身に付いているかどうかを問う。また、与えられた条件に基づき、適切に英語を書いて伝えることができるかどうかをみる問題を出題した。正答率は、小問1が高かったが、小問2の①、②、小問3は低かった。</p> <p>・小問2は対話の流れと英語の定義に基づき適切な語を書く問題である。授業では、基本的な語句について、その意味を英語で理解させたい。綴りの誤りや減点される場合もあるので、単語を正確に書く力も付けさせたい。</p> <p>・小問3はコミュニケーションの目的を達成するための文法力をみる。言語活動で、基本的な動詞の過去形（不規則変化）や疑問文がしっかりと使えるよう表現に慣れさせたい。また、完了形や比較級等の文法知識を、使用場面を意識しながら、言語活動をおして適切に活用させたい。</p> <p>・小問4は、イラストに従って、時系列にまとめるある英文を書く問題を出題し、基本的な語句や表現を正しく用いて、書く内容を適切に表現する力を見た。自分の経験や出来事を述べては、日常生活でよくあることであり、習熟させたい事項である。授業では、話の展開を示すつなぎ言葉を含めた語い表現、文法等の定着を図り、出来事や経験及びその感想等を表現する言語活動を豊富に取り入れたい。</p> <p>・小問5は、登場人物の立場によって制服や私服のどちらが良いと考えるか、英語で表現する特徴的な問題であった。図を利用して、英語で十分な表現を用いて解答しているものから、白紙や具体性のないものなど解答は多岐に渡っていた。授業では読んだり聞いたりした内容について自分の考えや意見を書く活動を取り入れて、正確さや流ちょうさを高めつつ、まとまりのある文章を書く力を付けさせたい。</p>											
3 英文の概要や要点を正確に把握する問題		45.0									
I 1 文脈に沿って、空所を補って英文を完成する問題	中2	60.0									
2 文脈に沿って、英文の空所を補って適切な英文を完成する問題	中2	49.9									
3 文脈に沿って、空所を補って英文を完成する問題	中2	25.0									
II 1 図表にある情報を整理し、対話文の空所に補って適切な英語を書く問題	中2	51.6									
2 図表にある情報を整理し、対話文を完成する問題	中2	35.5									
III 英文の要点を答える問題	中3	53.2									
<p>・大問3は、日常会話や社会的な話題について、文脈に沿って内容を理解し、英語で記述する問題や図表等から詳細を読み取って答える問題で、要点を捉える力をみる。学習指導要領に沿って、社会的な話題を扱う問題や思考力・表現力等を問う問題を出題した。</p> <p>・中間1の3は正答率が低かった。解答に必要な情報を読み取り、文脈に沿って適切に表現する力を付けさせたい。また代名詞が何をさしているのか意識した指導も行う。中間IIは図表と対話から必要な情報を読み取り答える問題、中間IIIは英文の概要を捉える問題であった。</p> <p>・授業では、教科書だけでなく、初めて扱う英文や図表から、書き手の意図を理解するのに必要となる要点や情報を読み取り、英文の概要を捉える活動を導入したい。また、教科書の内容を図表を用いて理解したり表現したりする活動も効果的である。さらに、自己表現活動等で、既習の言語材料を用いて表現する力を伸ばしたい。</p>											
4 長文総合問題		34.8									
1 概要を読み取る問題	中2	70.8									
2 英文の情報を読み取り、適切なグラフを選ぶ問題	中3	63.9									
3 A 英文の情報を読み取り、空所を補って英文を完成する問題	中3	35.3									
B 英文の情報を読み取り、空所を補って英文を完成する問題	中3	13.4									
4 下線部の内容を日本語で説明する問題	中3	16.9									
5 下線部の内容を英語1語で答える問題	中3	26.2									
<p>・大問4は、国際交流に関する発表原稿を通して使用したスライドやグラフを選ぶ問題や本文を基に下線部の内容を書く問題などを出題した。語数は昨年年度と比較して減少した。</p> <p>・社会的な話題において概要を読み取る力や必要な情報を読み取る力をみる問題である小問1、小問2は、正答率が高かった。まとまりのある文章から必要な情報を読み取る問題である小問3、小問4は、正答率が低かった。説明文、意見文、対話文、物語文などの文体、日常的な話題や社会的な話題の各話題に応じて、コミュニケーション上重要となる必要な情報や概要、要点を捉えられるよう、多様な読み方を指導したい。</p> <p>・小問5は、本文の内容を踏まえ、下線部の内容を英語1語で答える問題で正答率は低かった。授業中に概要・要約を捉える活動を行いたい。</p>											

(注) 学年：当該設問に含まれる事項が初出する学年の意。

(注) ☆：目安対象の要素を含むの意。

(2) 英語の問題

- 6 留学中のあなたは、Margaret 先生から学園祭 (school festival) についての説明を聞きます。あなたが学園祭についてホストファミリーに伝えたい情報は、開催日、開催場所、多分 Margeret 先生の出発地、あなたたちのクラスの出席時刻です。説明を聞いた後、不足していた情報を Margeret 先生に聞くための質問として、最も適切なものを下の A~E の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- A Where will the festival be held? E What will we do on the stage?
 B When will the festival be held? F What time will we perform?
- 7 これから、英語の授業で行った Kanto の発表と、その内容に関する英語の質問を放送します。その質問の答えになるように、() 内に入る適切な英語を書きなさい。
- Because he () with other people.
- 8 これから、George と Kaoru との対話を放送します。その中で、George が Kaoru に質問しています。Kaoru に代わって、その答えを英文で書きなさい。2文以上になってもかまいません。書く時間は1分間です。

- 5 聞き取りテスト。放送の指示に従って、次の1~8の問いに答えなさい。英語【5】から5は1回だけ放送します。6以降は2回ずつ放送します。メモをとって構いません。
- 1 これから、Fumiya と Kate との対話を放送します。この後 Kate が見せるものとして、最も適切なものを下の A~E の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- A サッカーの試合 E 天気予報 F クイズ番組 G 音楽番組
- 2 これから、Audrey と Ren との対話を放送します。今から二人がテレビでみるものとして、最も適切なものを下の A~E の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- A 学校でバスケットボール E 学校でバレーボール
 B 公園でバスケットボール F 公園でバレーボール
- 3 これから、Naoko と Terry との対話を放送します。この後二人がすることとして、最も適切なものを下の A~E の中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- A 学校でバスケットボール E 学校でバレーボール
 B 公園でバスケットボール F 公園でバレーボール
- 4 これから、Nodoka と Joseph との対話と、その内容に関する英語の質問を放送します。その質問の答えになるように、() 内に入る適切な英語1語を書きなさい。
- They will go shopping next () .
- 5 これから、Paul が農場体験 (farm camp) に関する発表を行います。二日目の活動について、下の A~E を行った順に並べかえ、その記号を書きなさい。

2

次の1～5の間に答えなさい。
1 次は、店員の Mr. Scott とアメリカに留学中の Ryota との、店内における対話です。下の①、②の空欄に入る最も適切な場所を対話文中の〈ア〉～〈エ〉の中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

① I'll take it. ② What size would you like?

Mr. Scott : May I help you? 〈ア〉
Ryota : I'm looking for a shirt for a party.
Mr. Scott : Sure. We have a lot of shirts.
Ryota : Could you show me some?
Mr. Scott : Of course. 〈イ〉
Ryota : A small one please. What color is the best?
Mr. Scott : Well, blue is popular.
Ryota : I already have a shirt in that color. 〈ウ〉
Mr. Scott : I see. How about this one?
Ryota : It looks good. How much is it?
Mr. Scott : It's 35 dollars.
Ryota : It's not so expensive. 〈エ〉
Mr. Scott : Thank you for buying it.

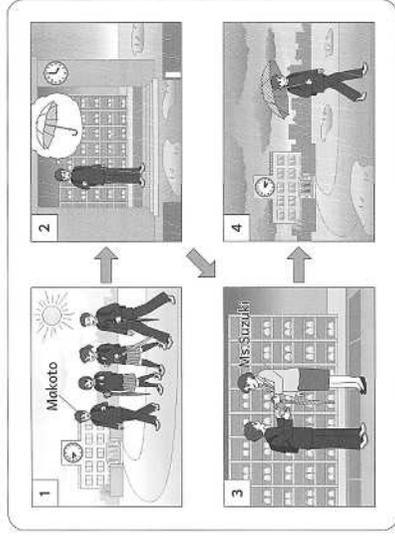
2 次は、ALT の Ms. Lee と中学生の Yui との対話です。対話文中の ①～⑤ に、下の [説明] 内の [説明] が示す英語1語をそれぞれ書きなさい。

Ms. Lee : I heard there will be a festival early next month.
Yui : The Dance Festival, right? It's held on Culture Day. ① 3. It is one of the most popular festivals in my city. I dance with my friends in the streets every year.
Ms. Lee : Really? That sounds exciting. Can I join you?
Yui : Yes, of course! Well, you have to learn how to dance. Let's ② together in the city gym this weekend.
Ms. Lee : Great! How long will we dance at the festival?
Yui : For about an ③ . It starts at 2 o'clock and finishes at 3 o'clock.
Ms. Lee : I see. Now, I really can't wait for the festival!

[説明]
① the eleventh month of the year, after October and before December
② to do an activity again and again to become better at it
③ one of the 24 parts of a day, and it is as long as 60 minutes

英-4

4 次は、中学生の Makoto の昨日の出来事を描いたイラストです。Makoto になつたつもりで、イラストに合うように、一連の出来事と解答欄の書き出しに続けて30～40語の英語で書きなさい。英文の数は問いません。



5 英語の授業で、制服 (school uniform) について ALT の Nick 先生から次のような＜質問＞をされました。＜質問＞に対するあなたの考えを、理由も含めて、20語程度の英語で書きなさい。2文以上になつてもかまいません。下の【例】は Nick 先生がみんなの意見を聞いて黒板に書いた語を示したものです。なお、【例】に示した語も使ってよいこととします。
＜質問＞

When I was a student, I went to school in casual clothes*. Which are better, school uniforms or casual clothes?

注 casual clothes 私服
【例】
choose easy
cool buy decide
expensive relax

英-6

(2) 英語の問題

3 (1)～(3)について、下の【例】を参考にしながら、() 内の語を含める語以上使用して、英文を完成させなさい。ただし、() 内の語は必要に応じて形を変えてもかまいません。

【例】
< 教室で >
A : What were you doing when I called you yesterday?
B : (study) in my room. (答) I was studying

- (1) < 教室で >
A : Whose watch is this?
B : Oh, it's mine. Thank you. Where (find) it?
A : I found it on my desk.
- (2) < 公園で >
A : Do you know Mr. Jones? He is my English teacher this year. He said he knows you well.
B : Yes, I (know) for 10 years. He is my friend's father.
- (3) < 店で >
A : I want a new bag. I want to carry a lot of things.
B : Look! How about these two bags?
A : I like that one. I think it (big) the other one.

英-5

(2) 英語の問題

3 次の1～Ⅲの間に答えなさい。
Ⅰ 次は、中学3年生の Takeru が、英語の授業で発表した英語スピーチです。英文を読み、あと

の間に答えなさい。
Hello, everyone! I'm a member of the basketball team. I want to be a good player, but I have a problem. I become very (①) before games and I can't play well. I think some of you may have the same problem, and I have found a hint to solve this.

Two months ago, I saw a TV program about an athlete. She won a gold medal in the Olympics. During the program, she said, "When I was a high school student, I often got nervous before big games." When I heard this, I was surprised that my problem and her problem were the same. She continued, "I often thought (②)." I didn't think positively*. Then, I read a book written by a famous soccer player. It taught me an important thing. It said that positive words can help us play well. After that, I started to use them and I won a gold medal! After I saw the TV program, I became more careful about my words.

Last week, our team had a basketball game. The game was very important to us and the other team was strong. During the game, I kept using positive words. I said to my team members, "Let's do our best until the end. We can do it! We can do it!" It was a close game*. Just before the end of the game, the ball came to me. Then, I thought "I can do it!" and made a shot*. It was successful. We won the game! I was proud that I did my best until the end.

If you want to do something well, why don't you (③)? They may be a big help for you. Thank you for listening.

- 注 positively 積極的に a close game 接戦 made a shot シュートを行った
1 (①) に入る最も適切なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。
ア cheerful イ worried ウ comfortable エ hungry
2 (②) に入る最も適切なものを下のア～ウの中から一つ選び、その記号を書きなさい。
ア I have worked hard
イ I cannot do it well
ウ Everything will be fine

3 (③) に入る適切な英語を3語で書きなさい。

英-7

Ⅱ 次は、商品の比較表<chart>と、それを基でいる高校生生の Ayumi と留学生の Robert との対話です。二人の対話を読み、あとの問いに答えなさい。
<chart>

Goods	Towel	T-shirt	Bag	Cup
Information	<ul style="list-style-type: none"> - A picture of Sekurajima - Choose a size (small/large) - Choose a color (white/blue/pink) 	<ul style="list-style-type: none"> - Choose a size (small/large) - Choose a color (white/pink/black) 	<ul style="list-style-type: none"> - Choose a size (small/large) - One color only (brown) 	<ul style="list-style-type: none"> - Made of glass - Choose a color (pink/blue/green)
Price	¥1500	¥2500	¥3000	¥5500

※ If you buy goods from the website, you have to pay the delivery fee*. It is ¥500.

注 glass ガラス delivery fee 配達料

Ayumi : Becky will leave Kagoshima next month. She has been studying with us for a year. I will miss her very much. Shall we give her a present?

Robert : Yes, let's.

Ayumi : I made this chart from a website. Each price is shown without the delivery fee.

How about these goods?

Robert : Those are great! I like this (①). We can choose a color.

Ayumi : I agree! It looks good. What color should we choose?

Robert : Of course, pink, her favorite color! Oh, wait! If she drops it, it will be broken.

Ayumi : You're right. Then, how about this one? She can enjoy wearing it.

Robert : I don't think we should buy it. It looks good, but she often wears something similar. What do you think about this one? She can remember Kagoshima when she uses it.

Ayumi : OK. Let's buy it from this website.

Robert : How much is it in total?

Ayumi : It is (②) yen.

Robert : Sounds good! I hope she will like it.

注 in total 合計

1 (①) に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア towel イ T-shirt ウ bag エ cup

2 (②) に入る数字を書きなさい。ただし、算用数字を用いることとします。

英-8

英-9

(2) 英語の問題

Ⅲ 次は、中学3年生の Minami が、英語の授業で発表した英語スピーチと、それを聞いた直後の Alex 先生と Ken との対話です。英文と対話を読み、() 内に入る最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

Hello, everyone. I went to Australia last month. This was my first experience of going abroad. Today, I will talk about something I learned from my stay in Australia.

What do you say in English when you meet people? We usually use "hello." However, in Australia, "good day" is also used. People in Australia sometimes use the word, "football" when they mean "soccer." One day, I went to a department store. I asked a

shop clerk, "Where is the elevator?" Then, he said, "Oh, you are looking for the lift, right?" At first, I couldn't understand him. I said again, "Where is the elevator?" He

smiled and said to me, "An elevator is often called 'a lift' in Australia." When I could not understand these kinds of words, the Australian people I met always helped me. People

there sometimes use different words. It was exciting for me to learn them.

My stay was a great experience. I want to go to some different countries and learn more about languages. Thank you for listening.

注 stay 滞在 elevator エレベーター

Alex : Thank you, Minami. Good speech. Ken, what does she want to tell us the most?
Ken : ()
Alex : I think so, too.

ア You should go to a foreign country if you want to be a great football player.

イ If you have a problem, you should ask other people about it.

ウ It is fun that people sometimes say the same thing with different words in English.

エ Going to another country is a good way to make new foreign friends.

4 高校生の Keita は英語の授業で、国際交流 (international exchange) について自身の体験をもとに発表しました。英文を読み、あとの問いに答えなさい。

Hello, everyone! I'm Keita. I went to Taiwan last summer, so today ① I'd like to talk about international exchange. First, I'll tell you about the results of the survey* that I did with this class. Second, I'll talk about my experience in Taiwan. Finally, I'll tell you my idea about international exchange.

The other day, I asked you two questions. The first one was "Do you want to go abroad?" The second one was "What do you want to do if you go abroad?" Please look at ② this slide*. (A) shows the result of the first question. More than half of you do not want to go abroad. (B) shows the result of the second question. You can see that learning a foreign language comes first. Making new friends abroad comes next. Eating local food is third.

Next, I'll talk about my experience in Taiwan! Last summer, I joined an international exchange program in Taiwan with some Japanese students from different schools. During the program, we took English classes at a local high school. English is a foreign language for students in Taiwan, just like for students in Japan. The students we met in Taiwan really enjoyed the English classes and spoke English a lot. I was surprised that they weren't afraid of making mistakes. After school, they used a lot of English when they talked to us. They enjoyed communicating with us in English. Please look at ③ this. The local students looked happy to be with us, right? Sometimes, it was difficult for us to communicate with them in English, but they always listened to us. They were always kind to us. When I introduced Kagoshima, they wanted me to talk more about it and asked many questions.

We also did ④ some activities with the students in Taiwan. For example, we taught them how to fold* origami paper and sang a Japanese song, "Akatorobo", in English for them. The students in Taiwan introduced a traditional game called Diabolo (a type of Chinese yo-yo) to us. We said to them, "We also have yo-yos in Japan, but they are a little different." During the activities, everyone used ⑤ the same language and had a good time. The local students took us to some famous places. Among them, we saw some temples that looked like ones in Japan. We enjoyed some unique customs* of Taiwan such as the night market* and learned how to make pineapple cakes*. Through these activities, I realized that there are both similar parts and unique parts between the culture of Taiwan and the culture of Japan.

I hope you enjoyed my speech. I also hope you will think about going abroad in the future. It was fun for me to meet a new culture in Taiwan. I will continue to join international exchange activities. Thank you for listening.

注 Taiwan 台湾 survey 調査 slide スライド fold 折る customs 風習 the night market 夜市 pineapple cake(s) パイナップルケーキ (台湾の伝統的菓子)

英-10

(2) 英語の問題

1 次は、下線部①で Keita が発表したスライドです。Keita が話した内容の順になるように、スライドの (A) ~ (C) に入る最も適当なものを下のア～エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

International Exchange

1. (A) (B) (C)

2. (A) (B) (C)

3. (A) (B) (C)

ア My Opinion about International Exchange
イ My Experience in Taiwan
ウ The Results of the Survey

2 下線部②で見せたスライドとして最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア (A) (B)

イ (A) (B)

ウ (A) (B)

エ (A) (B)

Yes No

Learning a foreign language
Eating local food
Making new friends
Others

3 次は、下線部③で見た [写真] と、スライドを添った Keita が使った [メモ] の一部です。【メモ】の英文の (A)、(B) にそれぞれ入れる最も適切な英語の語を書きなさい。

【写真】

Welcome to Taiwan! August 2012 International Exchange Program

【メモ】

The students in Taiwan looked happy when they were with us.
They were very (A) and they always tried to understand us.
They listened to my speech and were (B) in Kagoshima.

4 下線部④を通して Keita が気づいたことを30字程度の日本語で書きなさい。

5 下線部⑤を具体的に示している英語の語を書きなさい。

英-11

